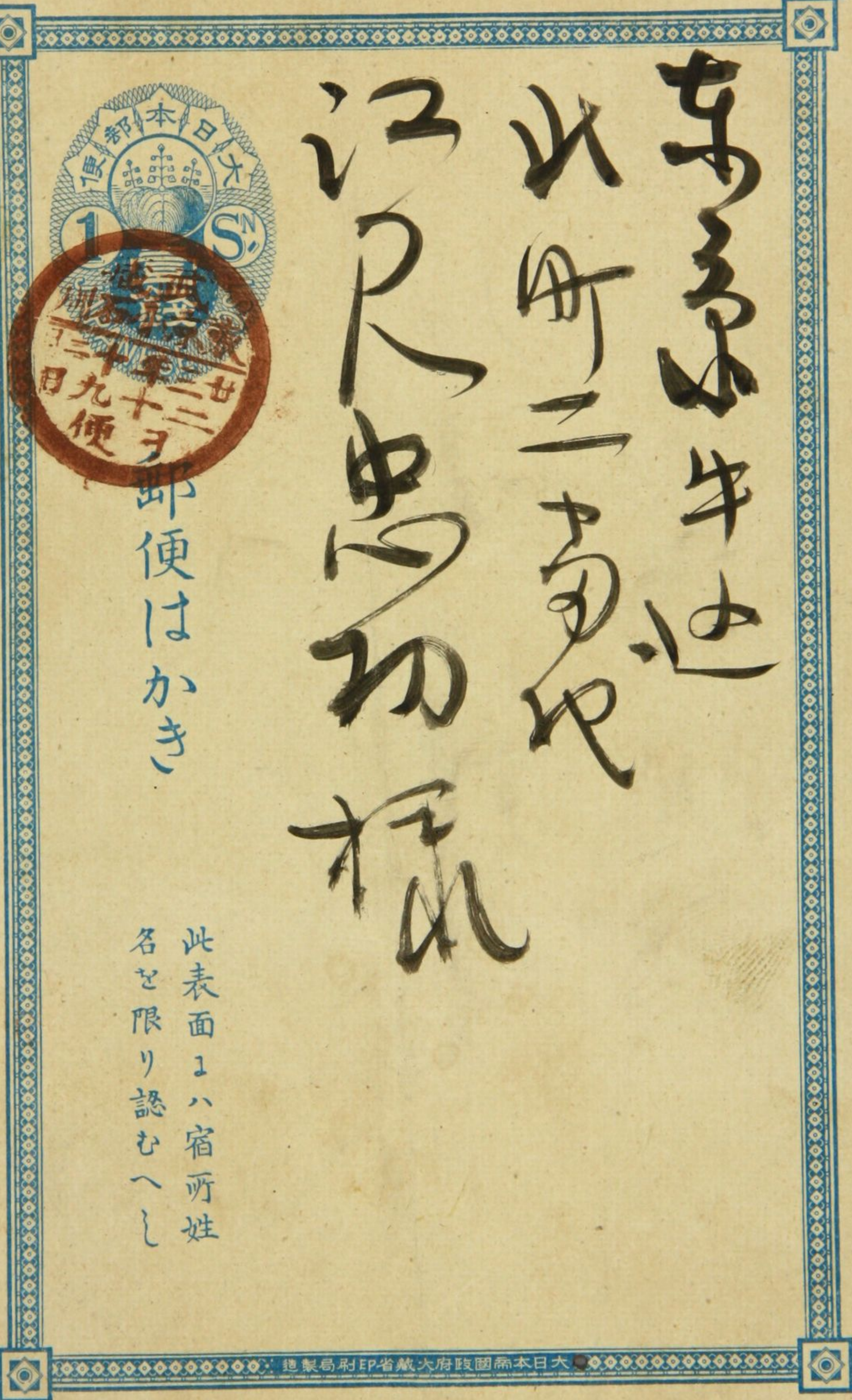


8



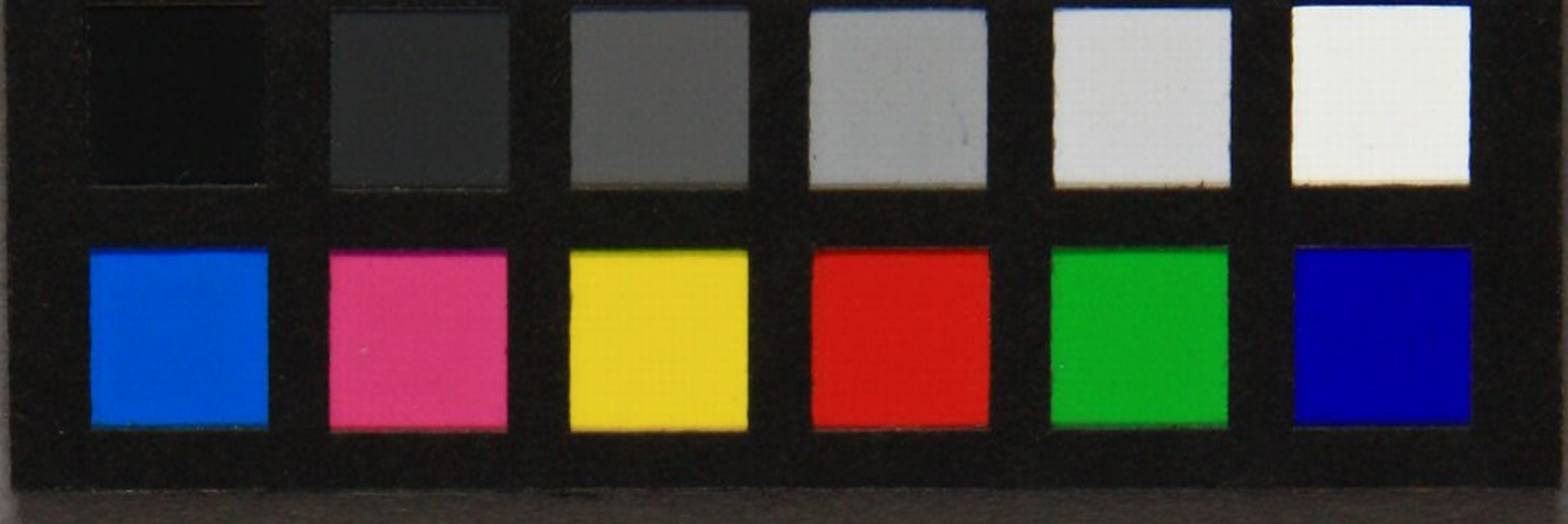
郵便はかき

東多山牛込  
山田三太郎  
江戸川中野初根

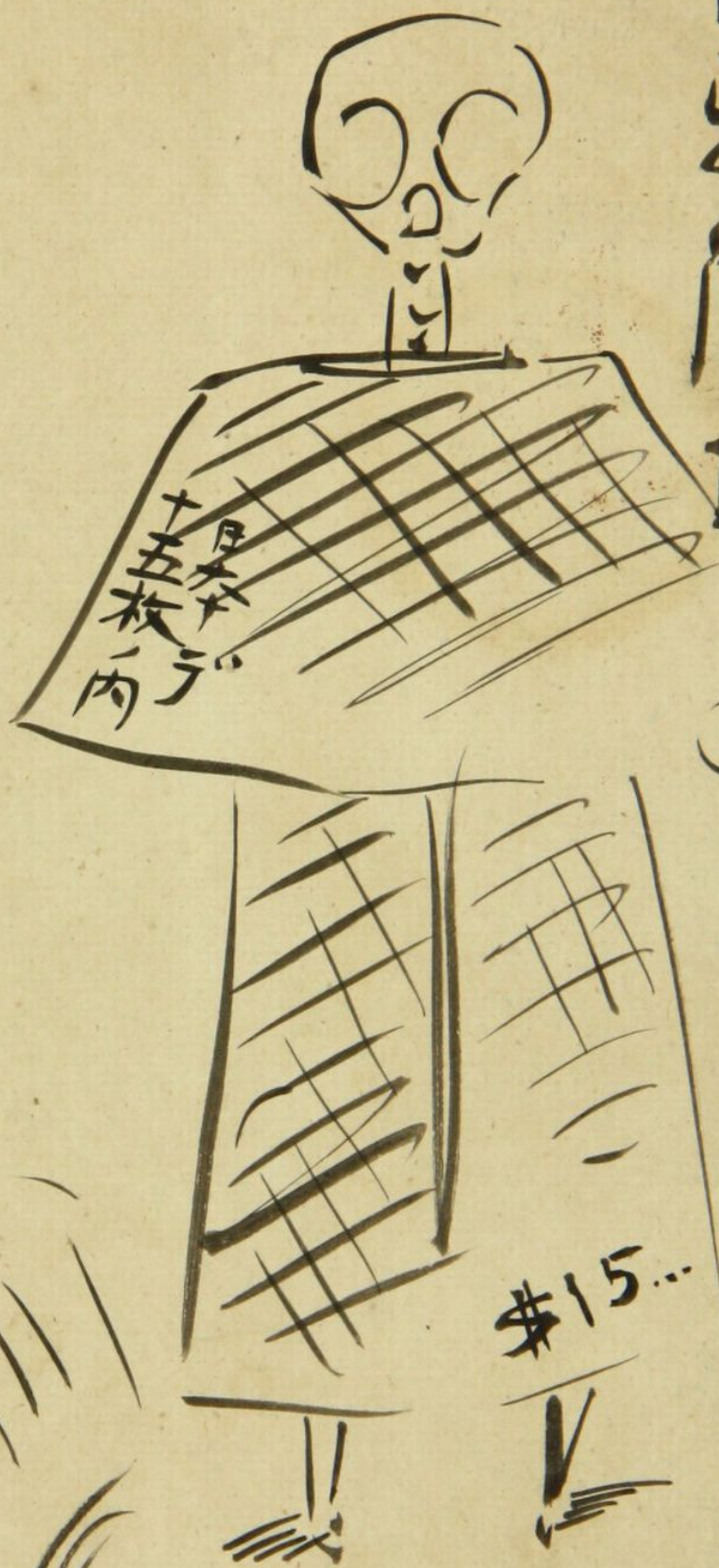
此表面にハ宿所姓名を限り認むへし







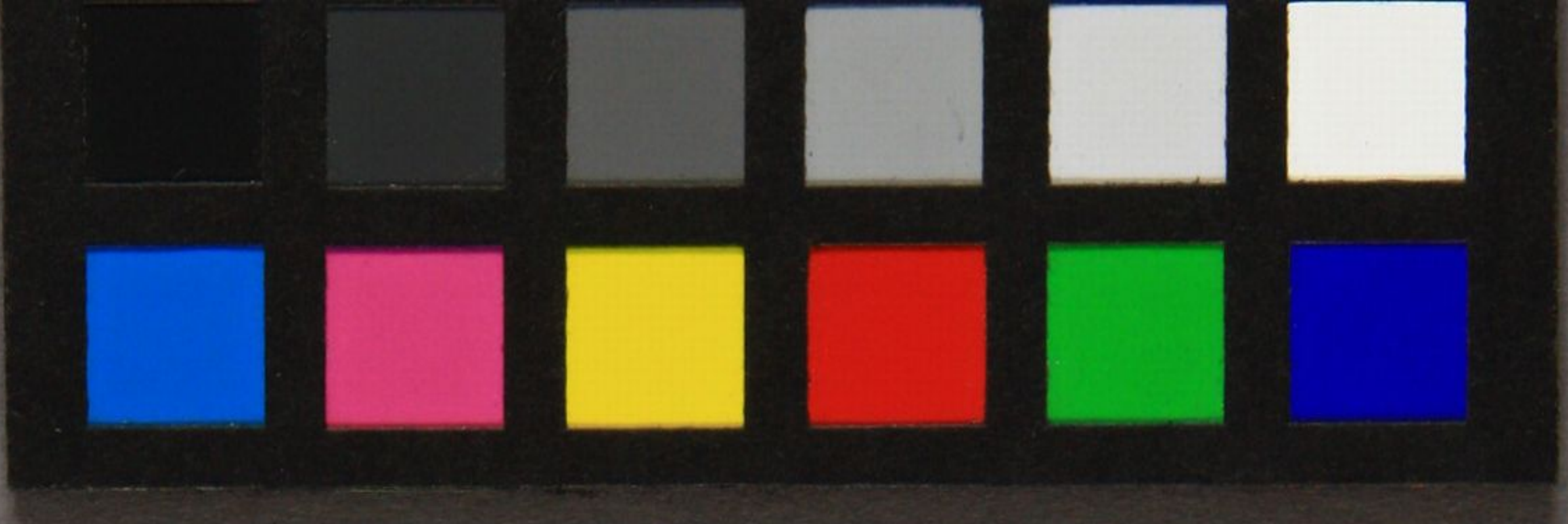
最取片屋ののオバアフリート!



うしろの  
フーとわね月のある処  
は尺でくしね上の在物マス







13



東京牛込北所四丁番地  
伊豆家 江見忠次殿

六日

郵便はかき

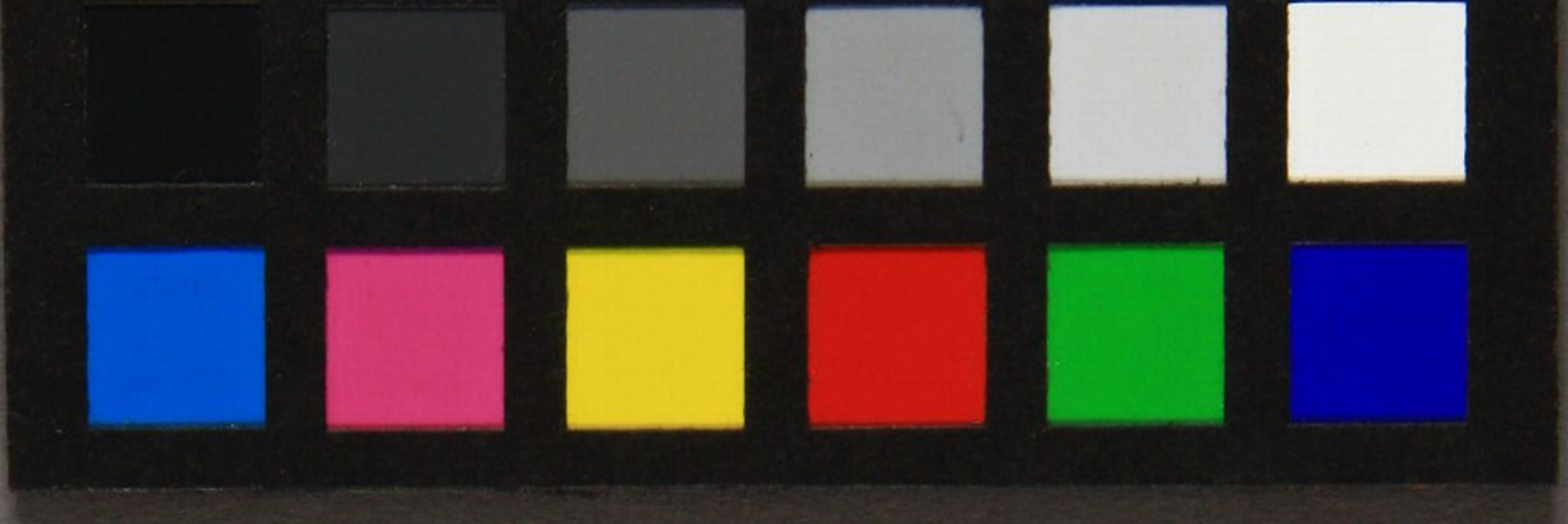
此表面にハ宿所姓名を限り認むへし





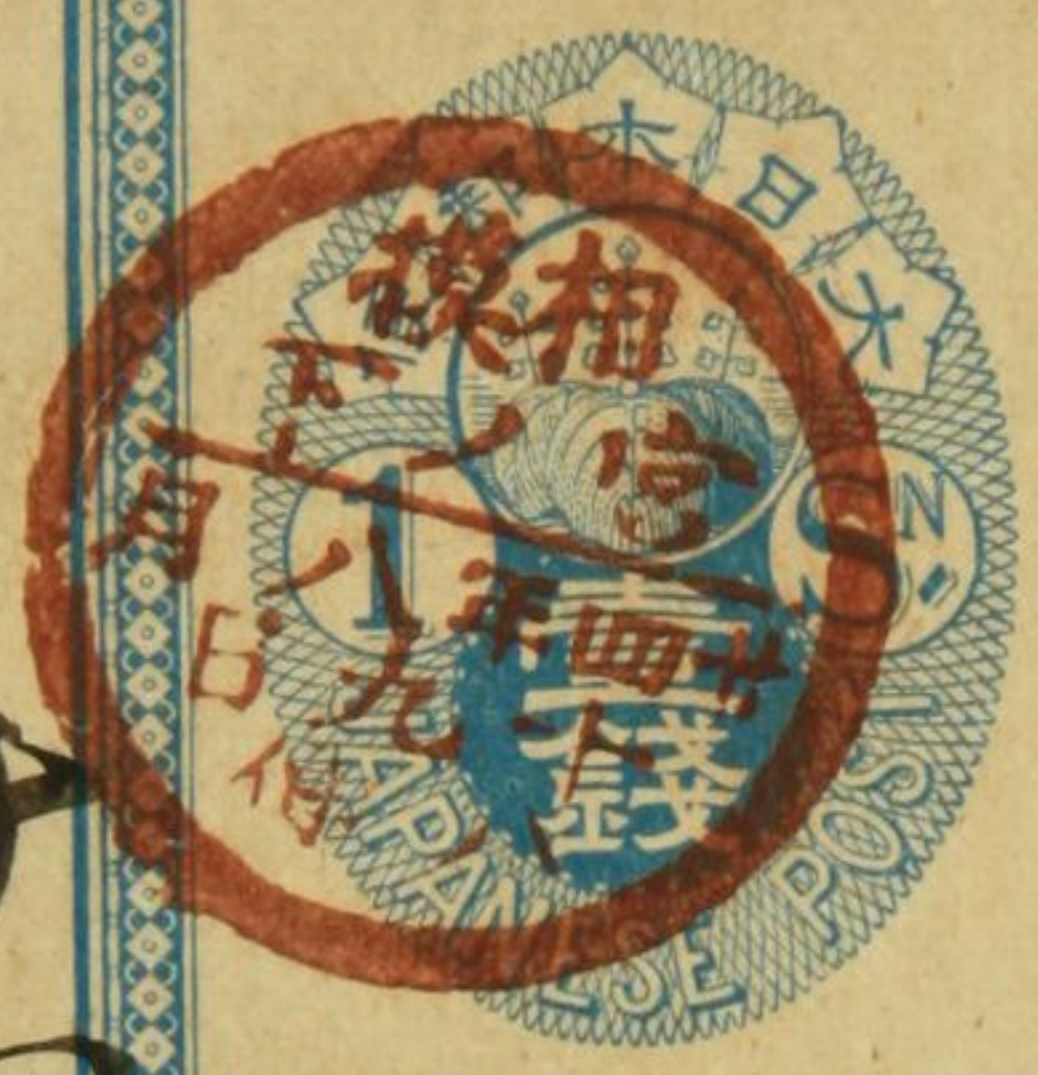
川石川寄呈虫會日社ハ今般  
會員一同之。用之。四能工。之。爲之。  
再來取卷ノ依托ヲ謝絶  
スルヲ決議セリ  
在廣告口ス





東之南半込北之回十一  
健常申

江之尺如之陰法之入也



お州名新編の湯  
郵便は  
此表面より八宿所姓  
田原

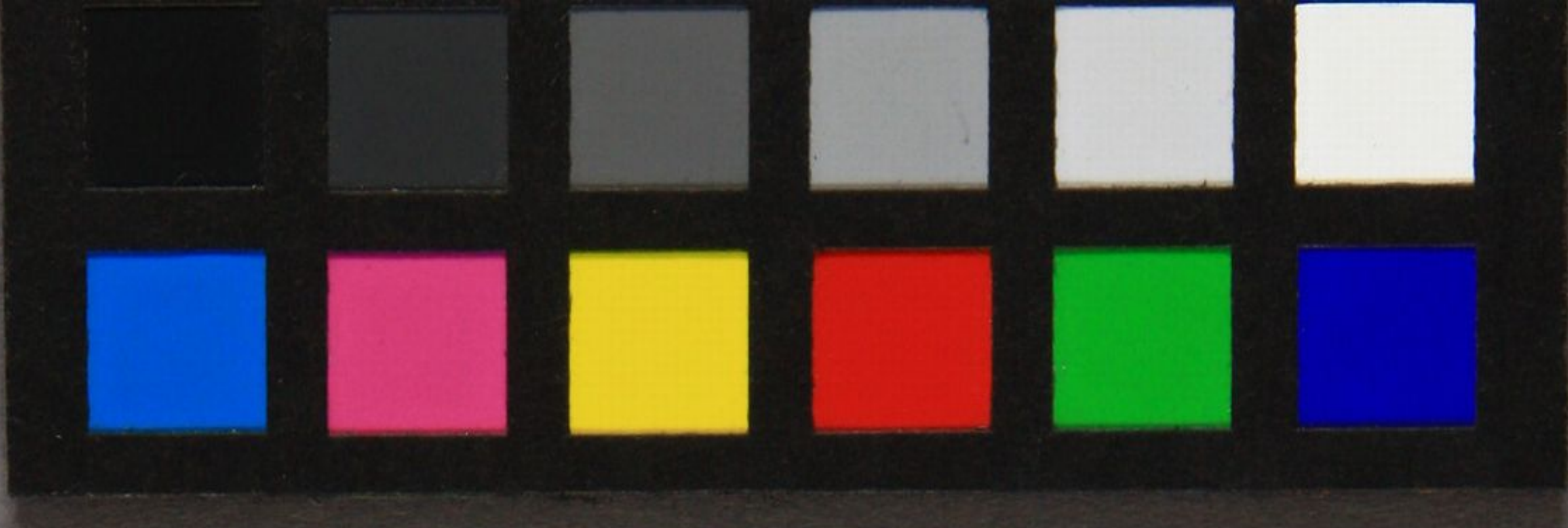
たのりたのり



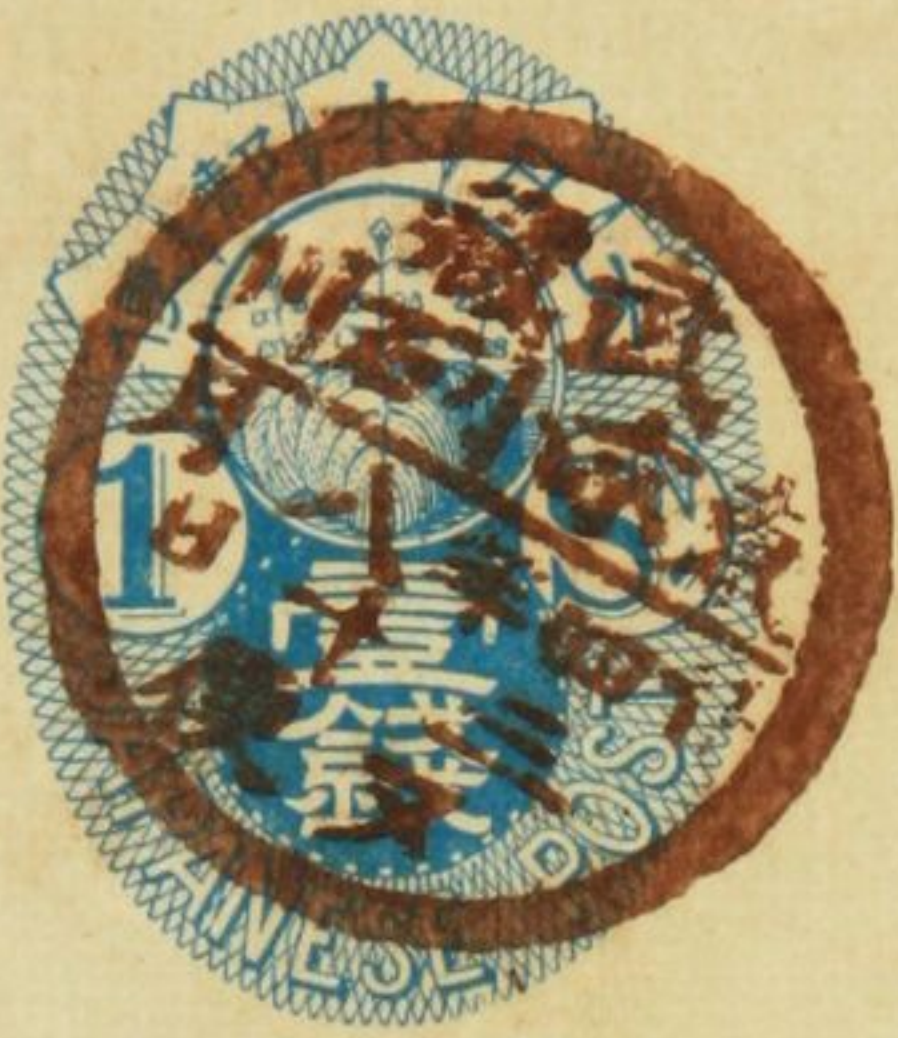


お能成元在得新報の御選  
と多分各州の儀在死  
重此存日存此より重此  
以後の御選及以の中  
子此身中引まゝ少くも  
重此存日存此より重此  
重此存日存此より重此





6



与系牛正北分四子一

江見の云活之也

付上

郵便はかき  
午辰  
名と限り認むへし

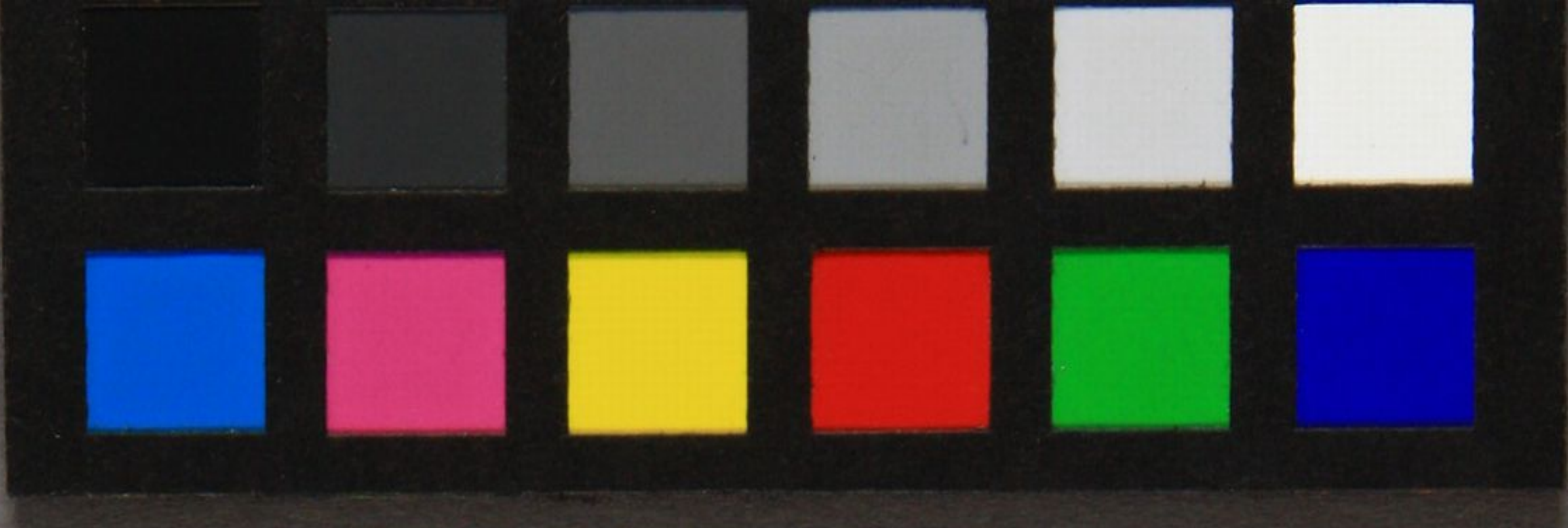
此表面より八宿所姓











15



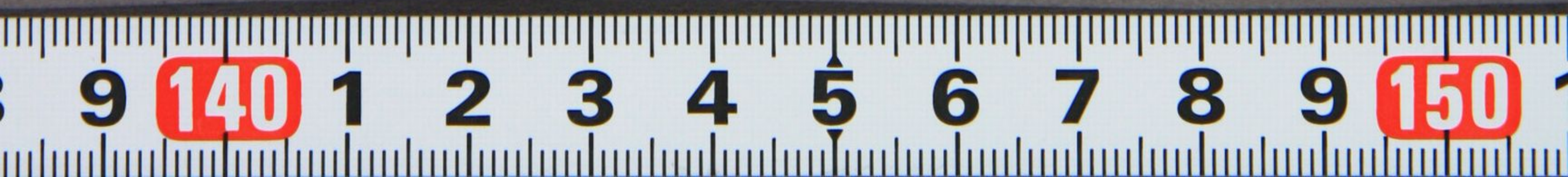
郵便はかき

松坂の次郎様  
先生へ  
お礼  
申す

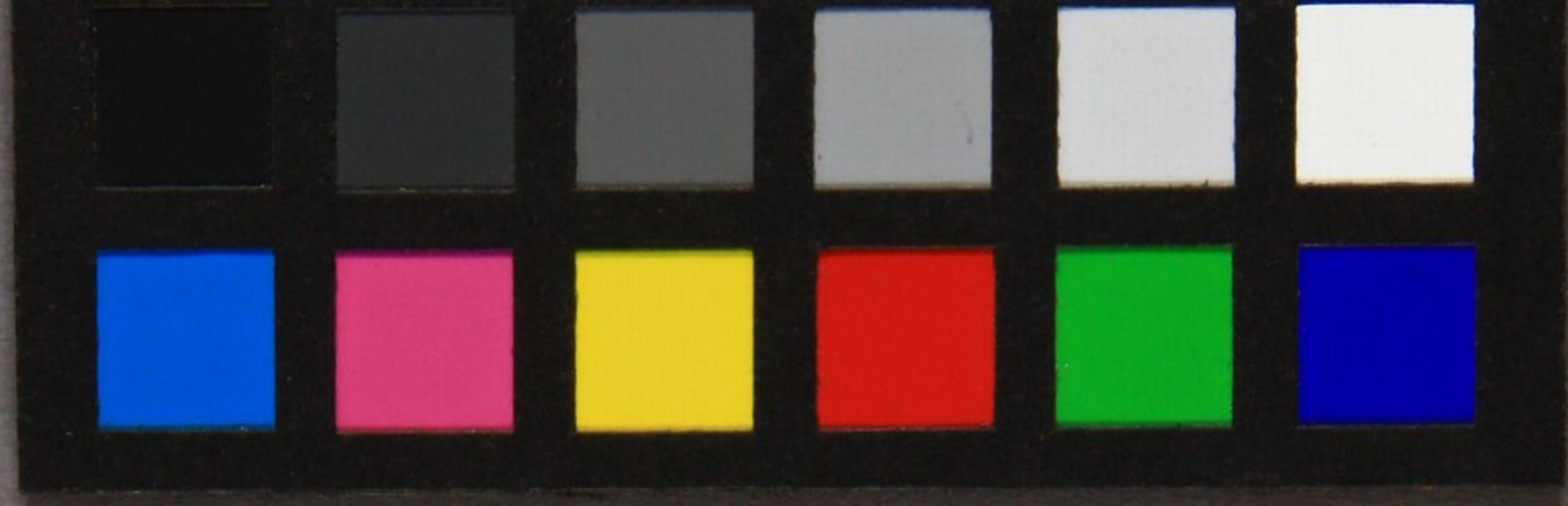
此表面  
名を限



大日本帝國政府郵政省印刷



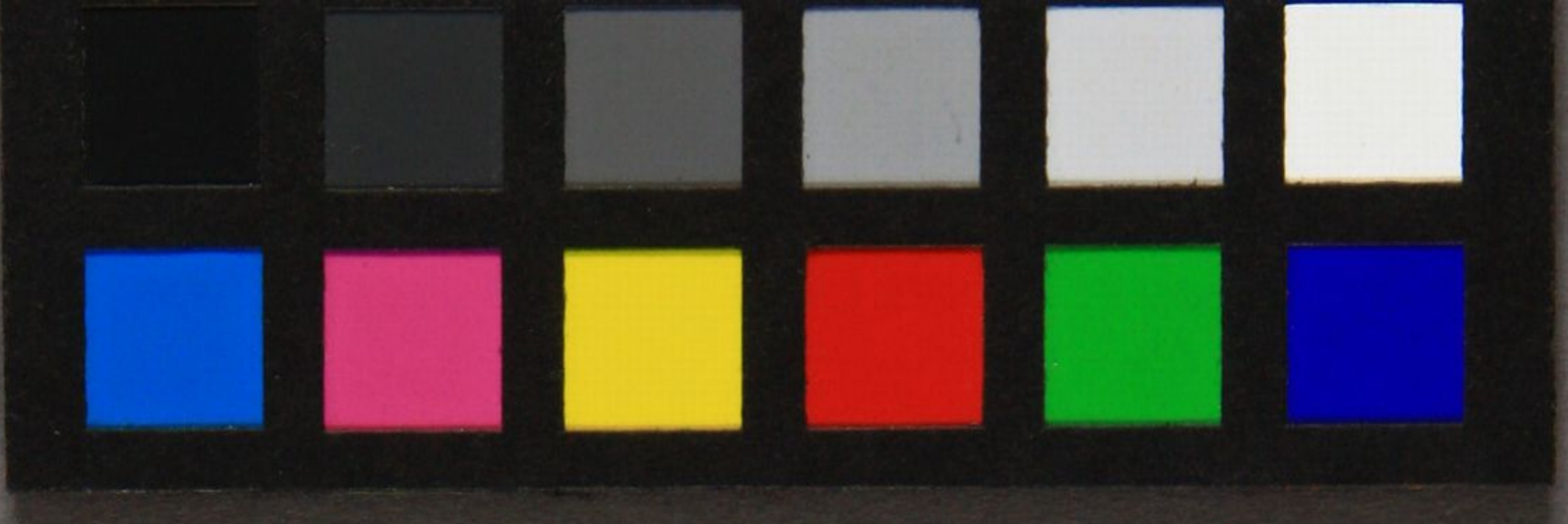




本より地へ出撃するに用ひ  
 中々好しく亦その事わき  
 下冷  
 けられあいらす少くも  
 流例のあつて有るに  
 山  
 何所へ  
 何所へ  
 何所へ







25



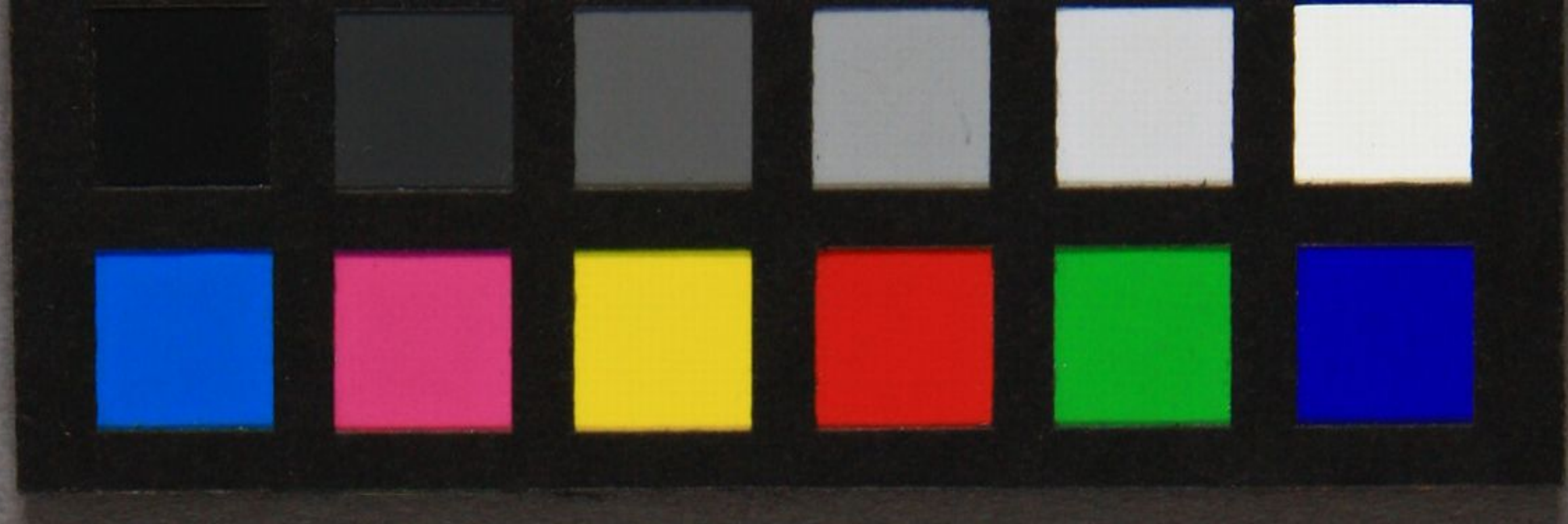
多事小半也此分  
四十一  
江見如云度生之

郵便は  
61  
10  
かき  
27  
61

10  
27  
10  
此表面は八宿所姓  
を根り認むへし







此片每子得也午下

身之氣味新

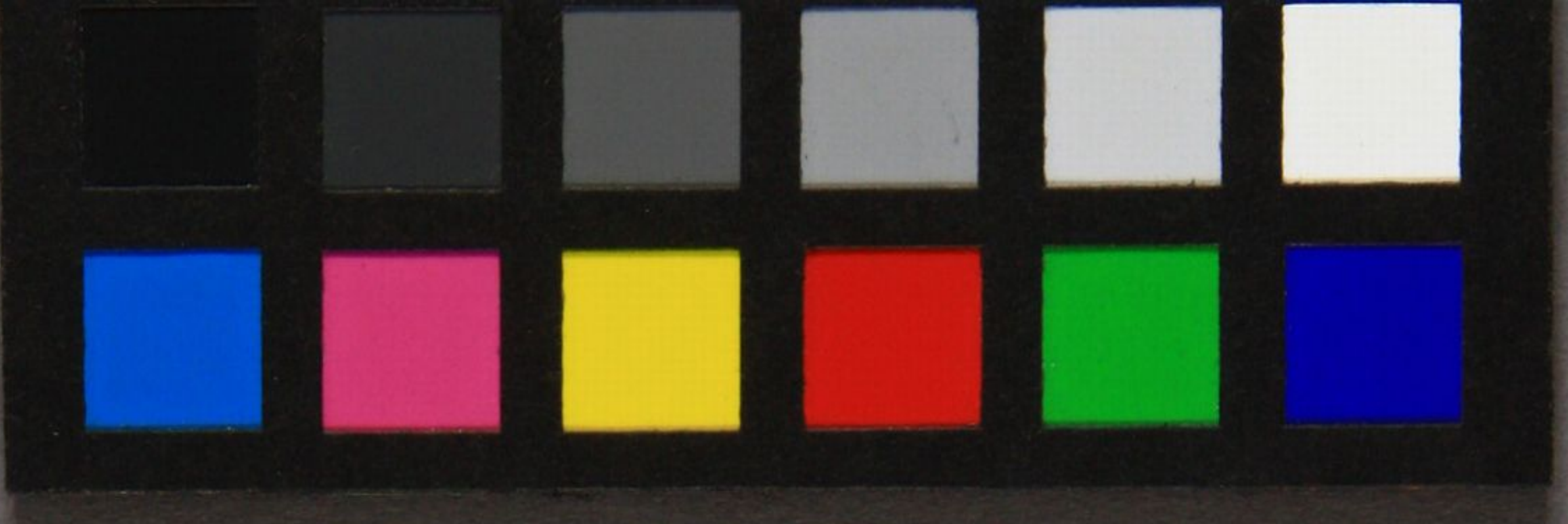
詩曰何力也

力石川 性悦仙

丁一月三十一日







7

武藏國東京市下  
牛込区北町四十一番地  
江次社長江見水蔭先生



三月一日

郵便はかき

*Handwritten signature*  
此表裏ハ宿所姓  
名を限り認むへし





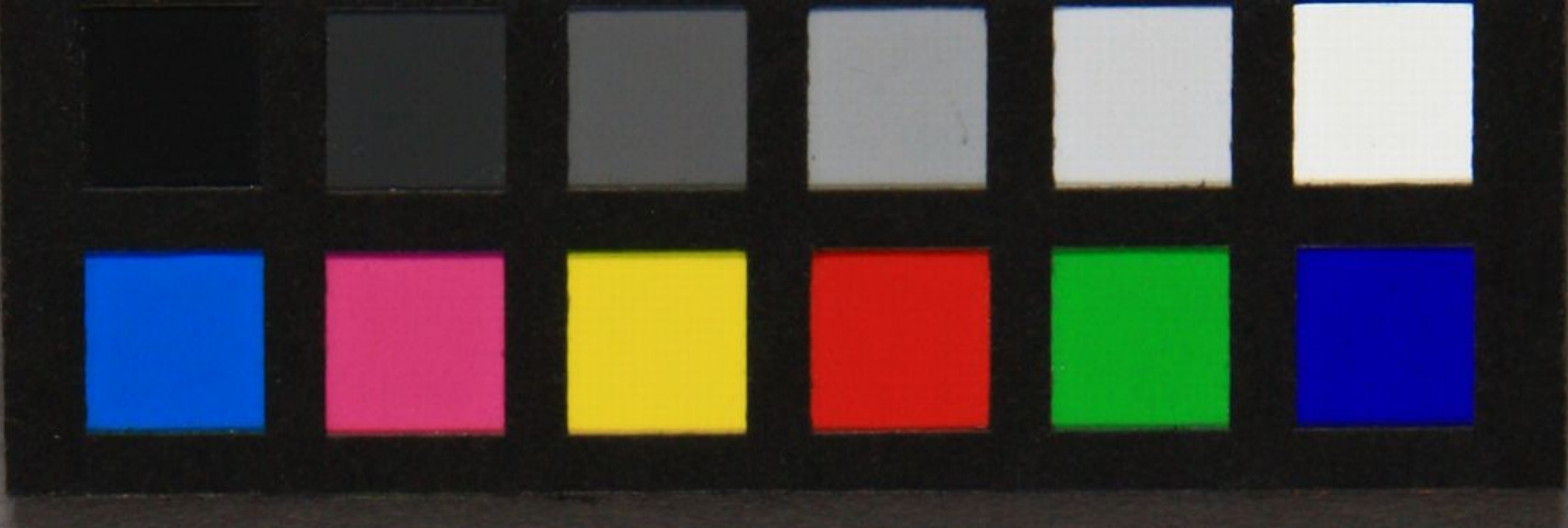
！ 内 奉 御 ！



≡ MENU ≡

明 三 日 於 自 豚 煮  
 三 月 自 午 煮  
 四 日 后 肉 汁 せ 深 煮  
 二 日 亭 四 支 眞 種 製 物 蒸 物 果  
 十 日 工 階 時 那 里 黒 ず 入 々 来 白 新 菓 密  
 六 日 曜 上 始 理 調 汁 へ 来 産 々  
 年 六 十 二 日 曜 上 始 理 調 汁 へ 来 産 々  
 etc. etc. etc.





31



牛込小舟四丁  
江月是如玄海先生

郵便はかき  
大至急  
執一四馬六元朝生

此表面ハ八宿所姓  
名を限り認むへし

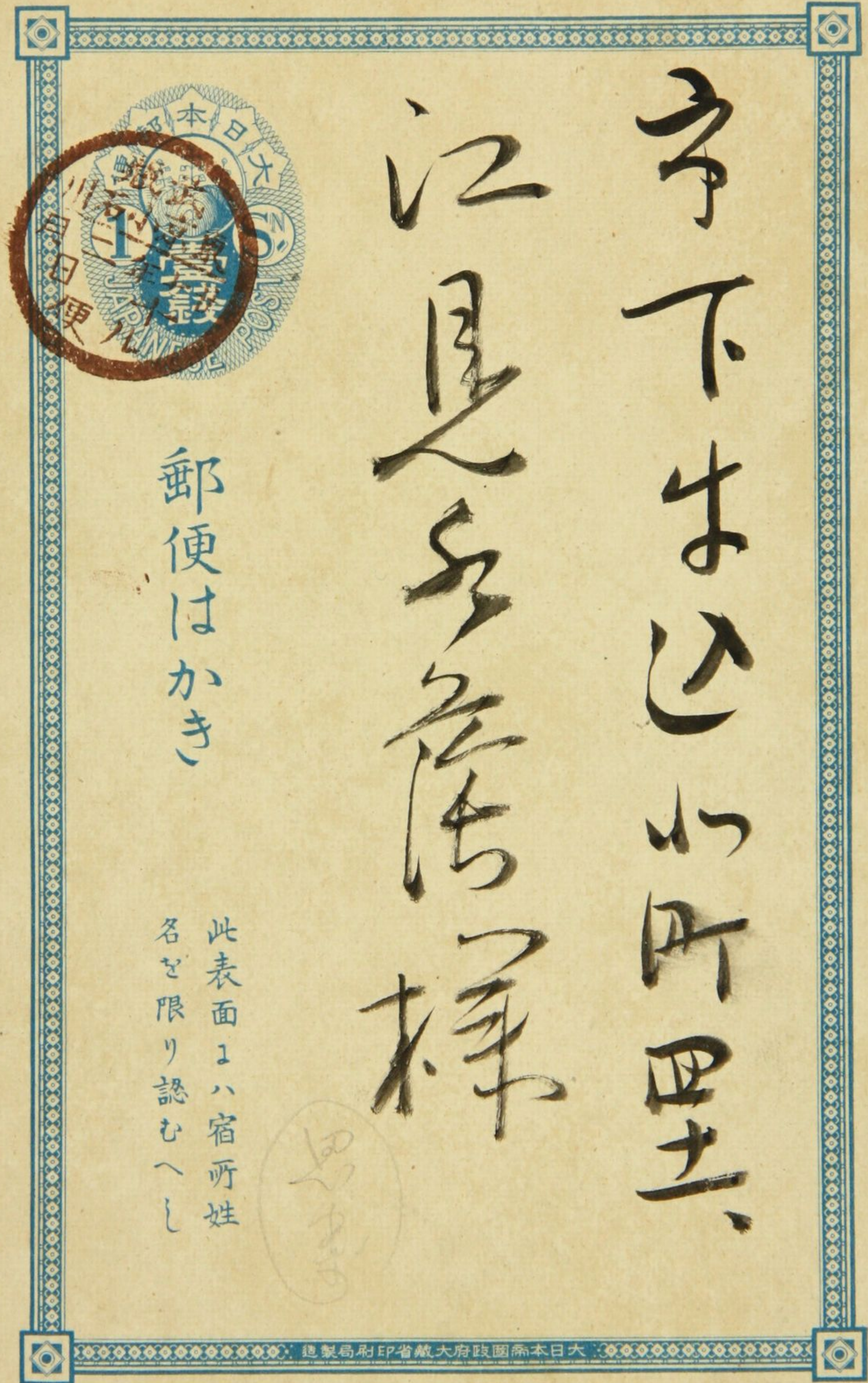
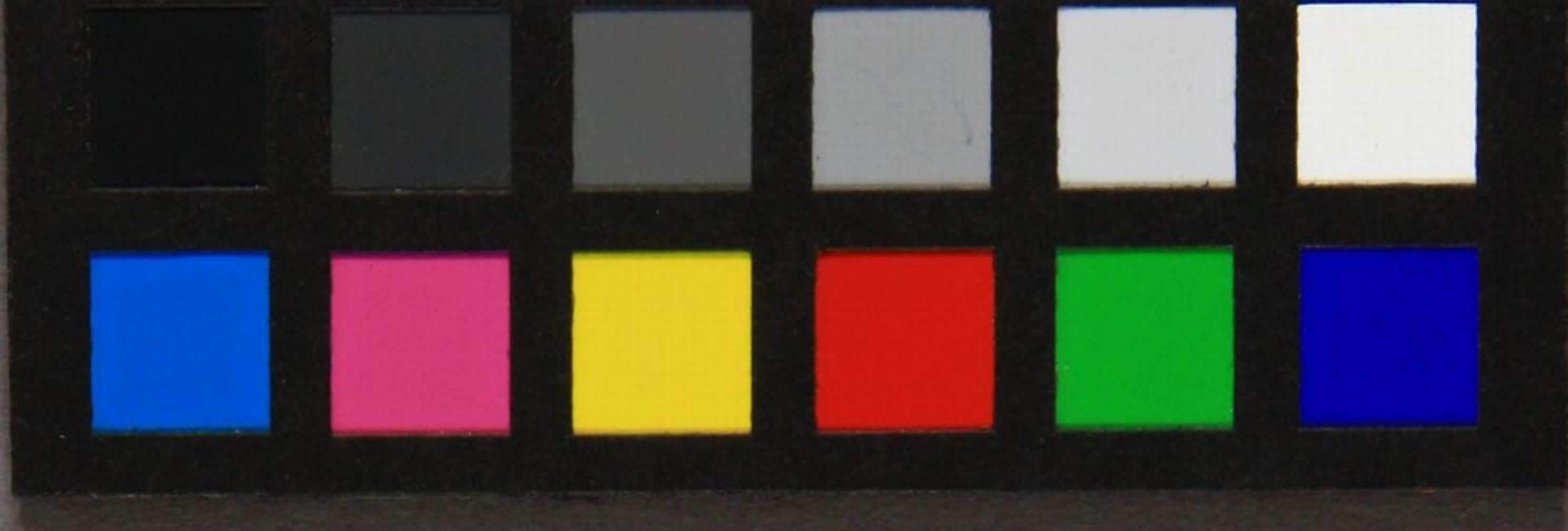
大日本帝國政府郵政省印刷局製









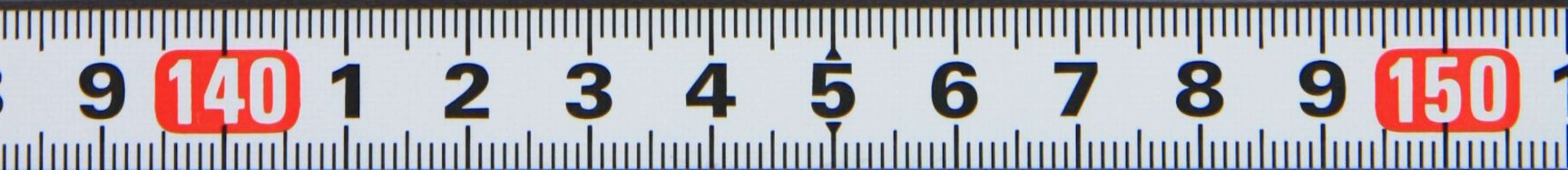


郵便はかき

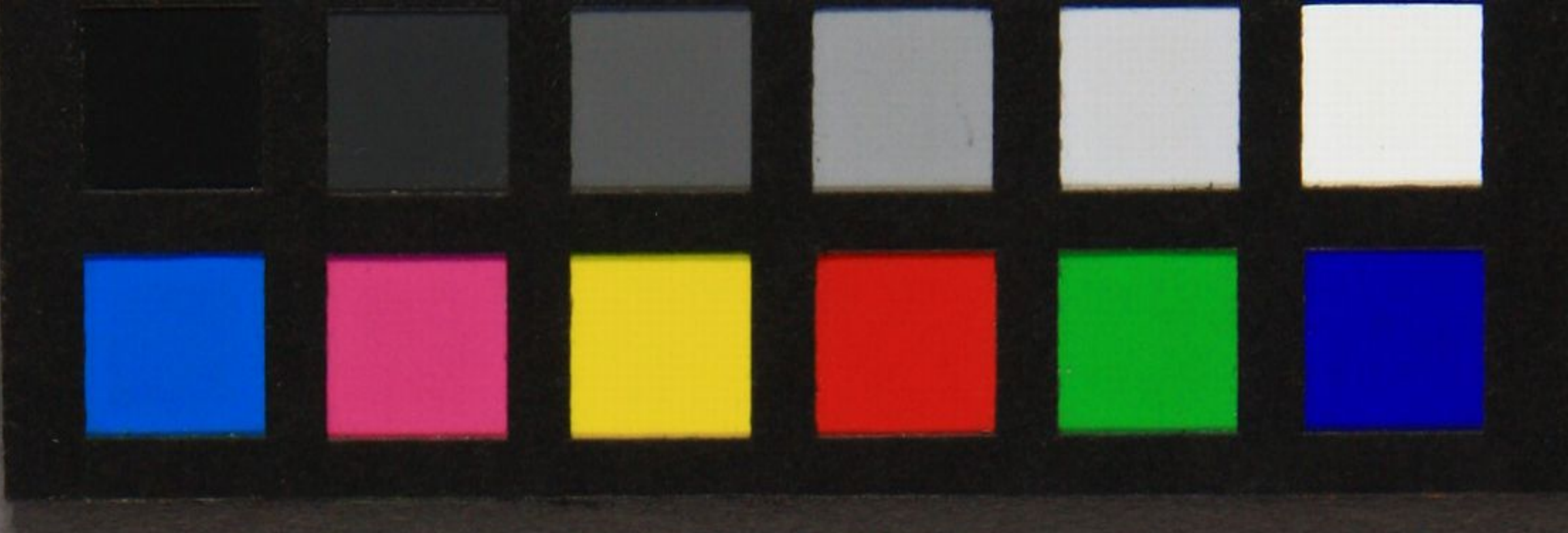
此表面より宿所姓名を限り認むへし

下牛込山所四六  
江見と花店様

如右



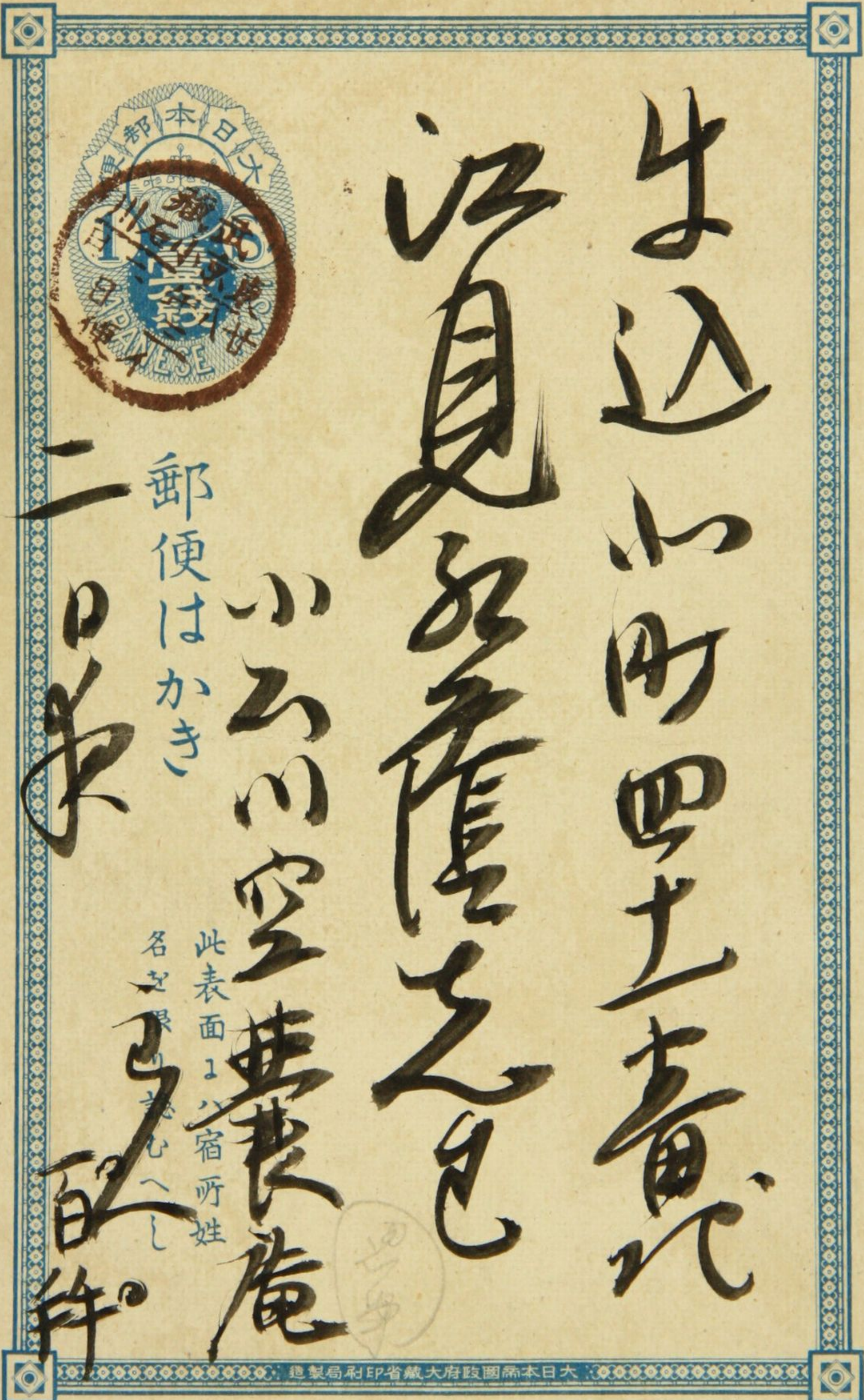




此、不、意、ある、大、破、つ、可、大、失、礼  
 流、し、う、な、ほ、し、う、そ、山、年、の、生、ま、現  
 あ、ま、り、あ、や、ま、る、し、か、る、物、に、世、間  
 度、の、み、め、未、だ、こ、子、胸、の、痛、い、よ、  
 例、の、拾、つ、と、刺、さ、し、で、踏、丹、も、刷、つ  
 と、よ、石、駝、の、骨、つ、と、よ、け、端、の、ち、り、束  
 め、と、よ、ち、ん、が、と、こ、よ、の、う、く、の、字、典、や、り  
 本、状、例、の、カ、メ、ト、リ、向、や、よ、の、手、紙、か、来、り、







4



牛込山町四丁目  
江見如彦隆之丞

郵便はかき  
小川空齋長庵  
二日申  
取付

此表面は宿所姓名  
名宛限り心へし

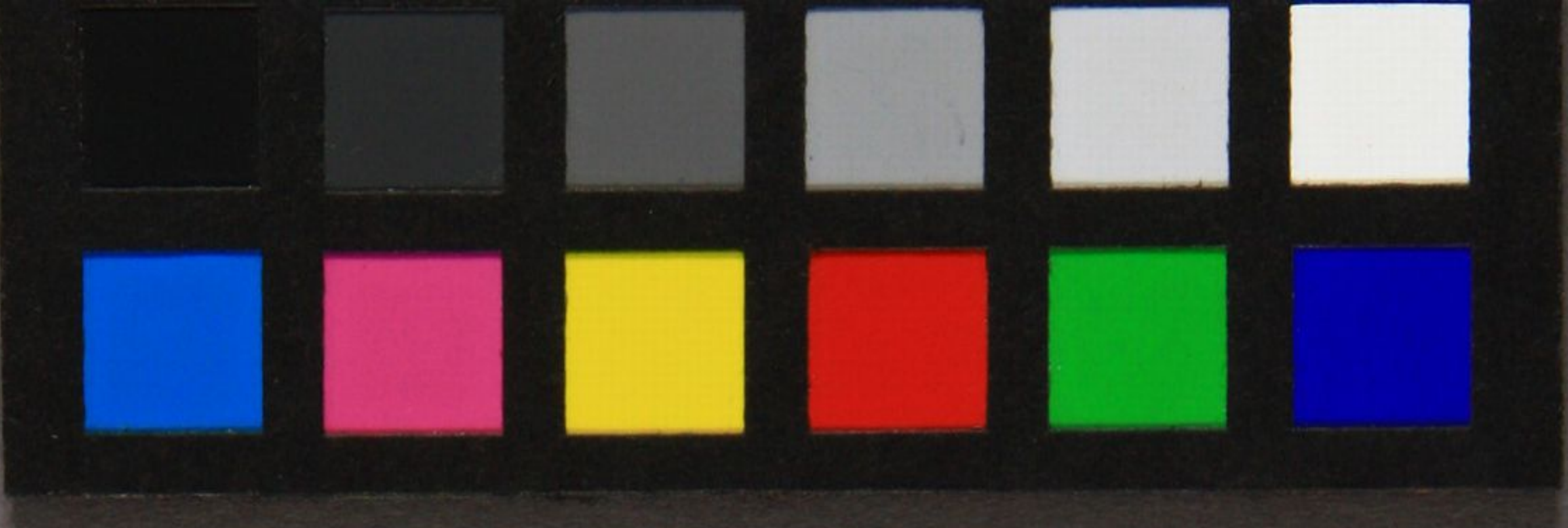
大日本郵政省印刷局製

9 140 1 2 3 4 5 6 7 8 9 150









12  
市廳府縣名  
(配達局名)

府下  
和川

郡區町村字丁目番地

南和川郡二五二

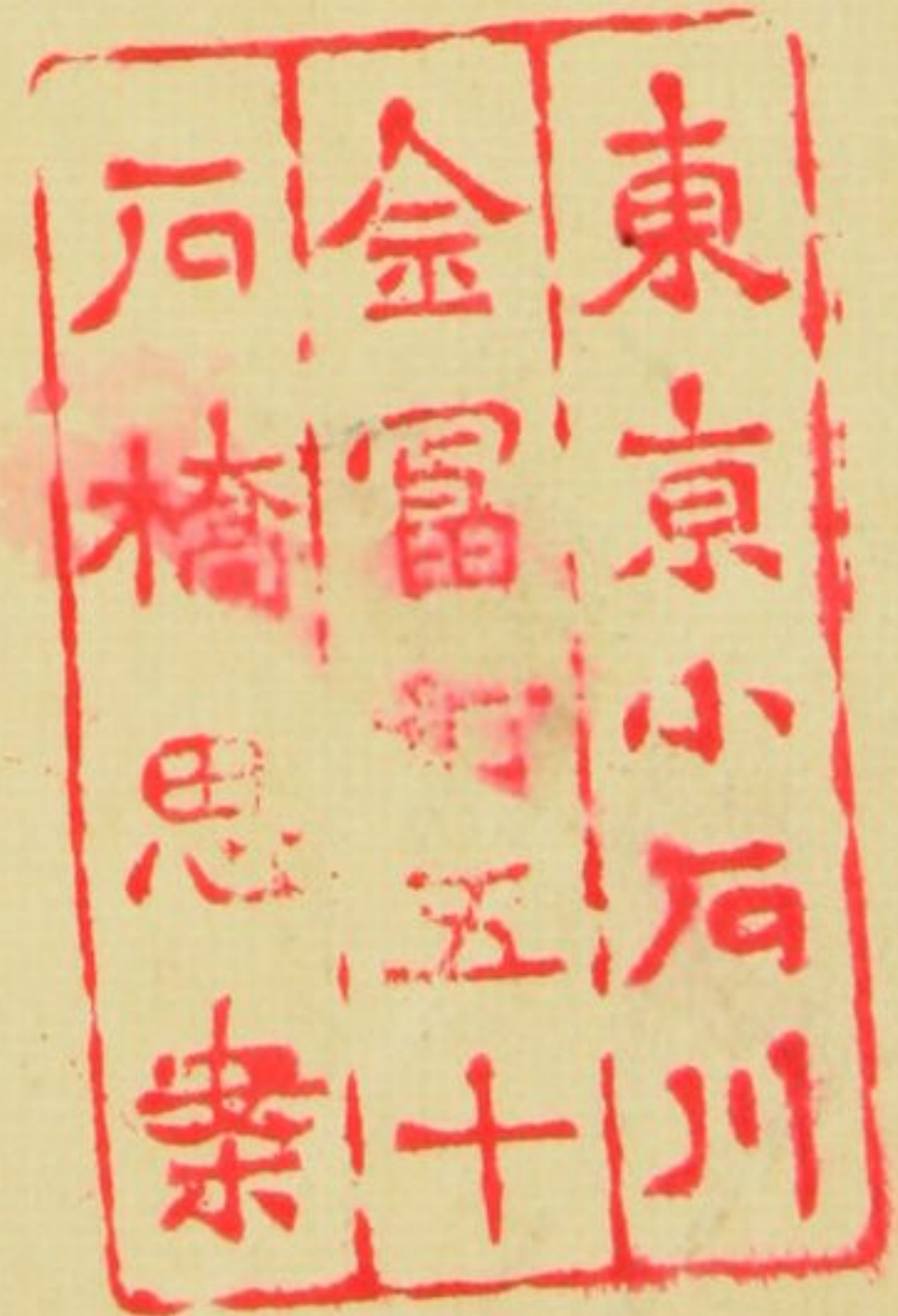
宛名

郵便便はかき

江尾和彦先生



上欄宛の所かみくど



電話

小石川

二七四〇











本心区北所四十一

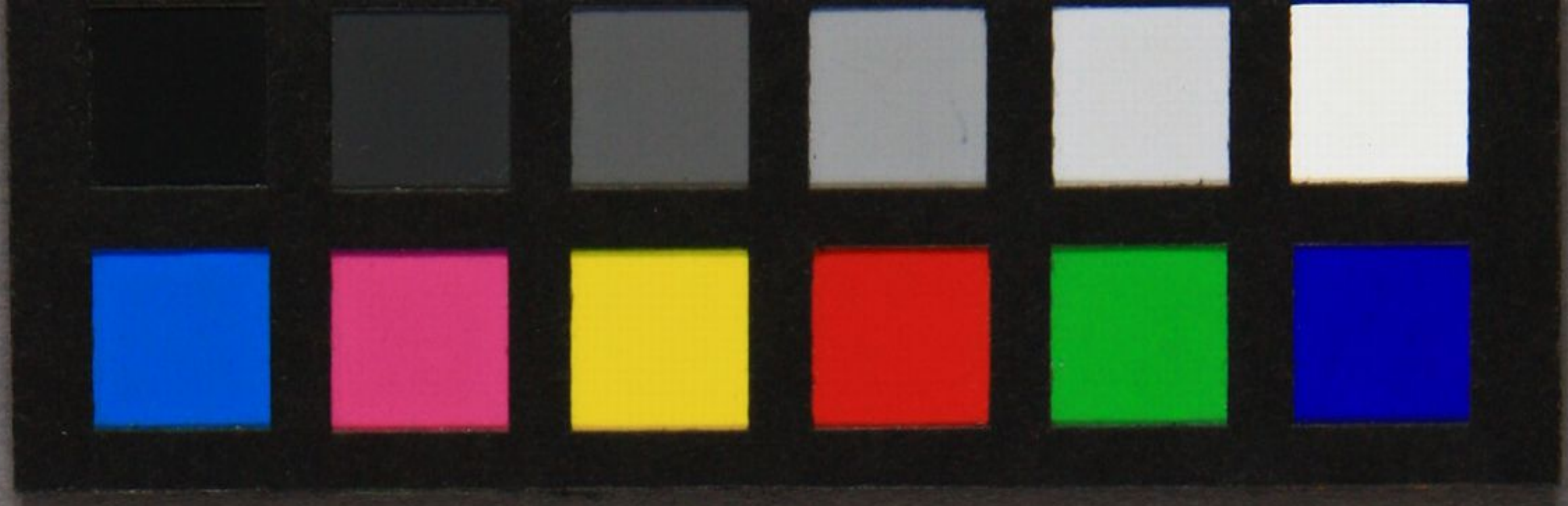
江見中少切持

少五川 里

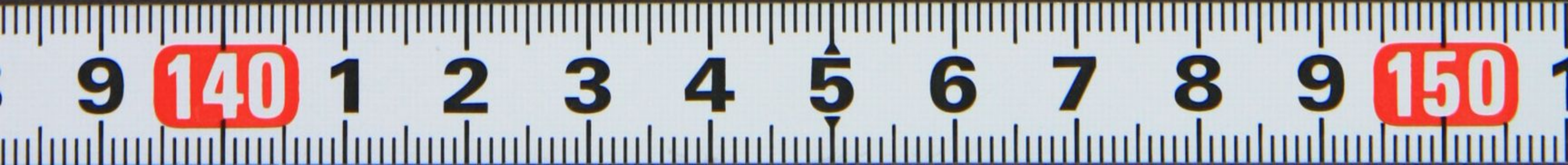
郵便局

此表面一八宿所姓  
名を限り認むへ

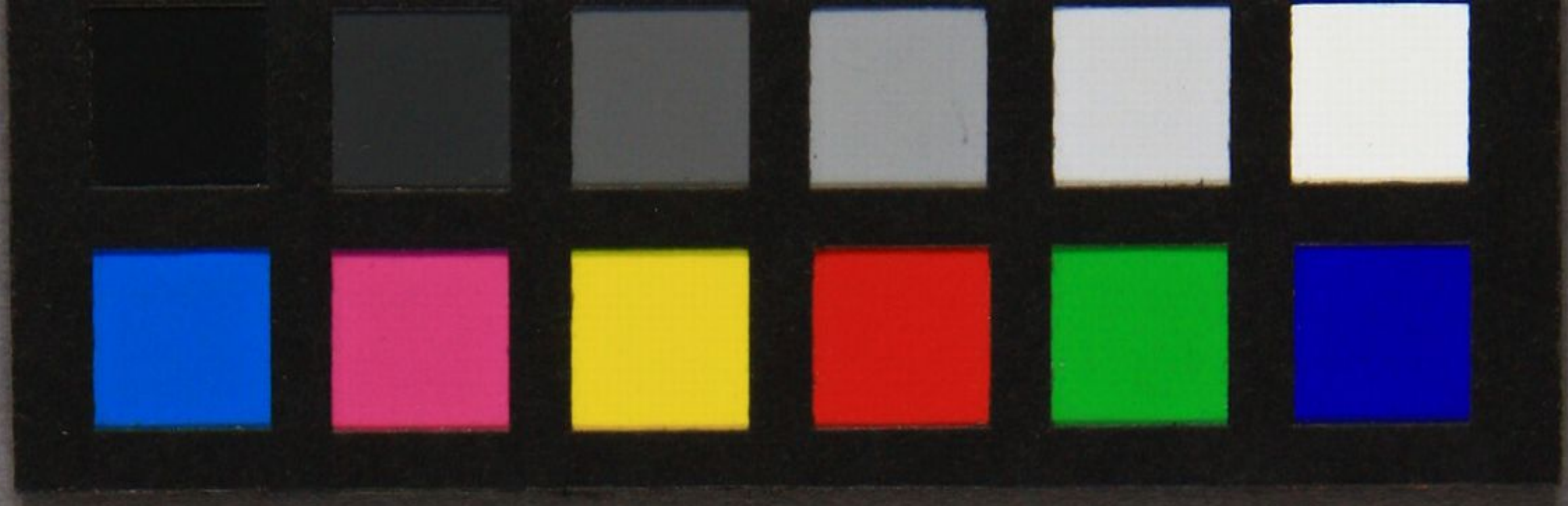




斬るに骨身歎けおせはく新来  
 知る当階より風波それ何  
 りと左とと人足今下当年の  
 勇力事あらば大瓢と肩よりそ  
 那古きまよえん之理非事と心ひやら  
 ちとほん濃濃に訪へ余を君と其を物と  
 敷と







10



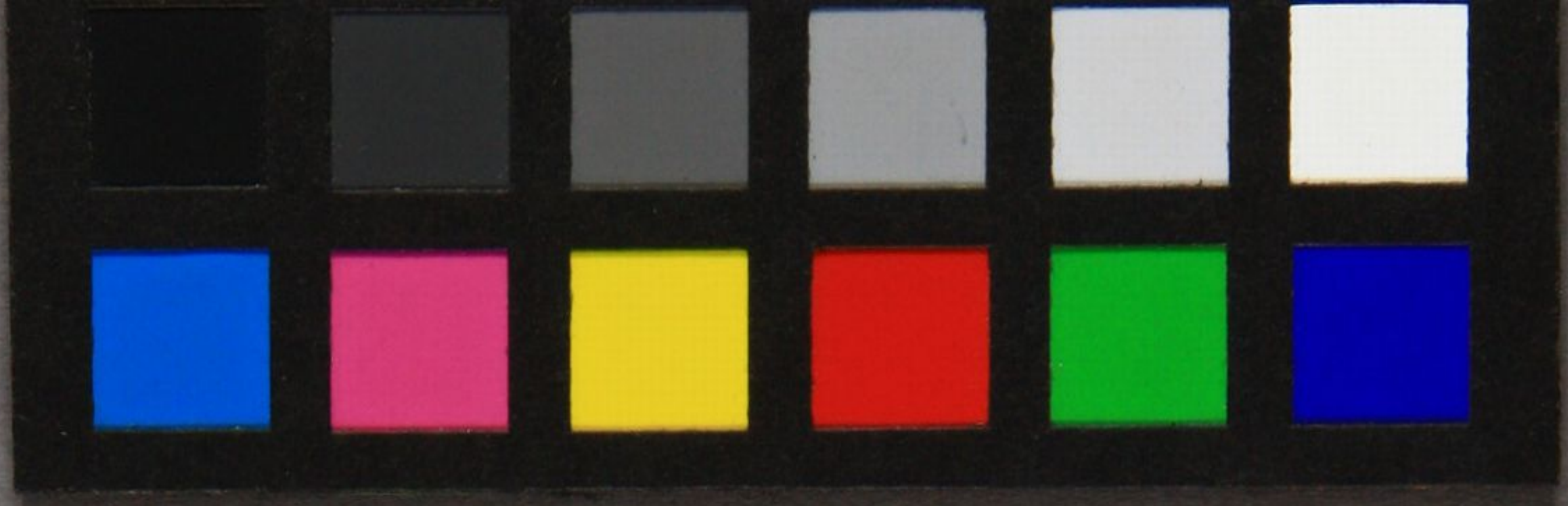
相  
川  
集  
松  
埃  
の  
次  
海  
本  
音

江  
中  
村  
志  
郎  
史  
規  
規  
團

此表面より八宿所姓  
名を限り認むへし



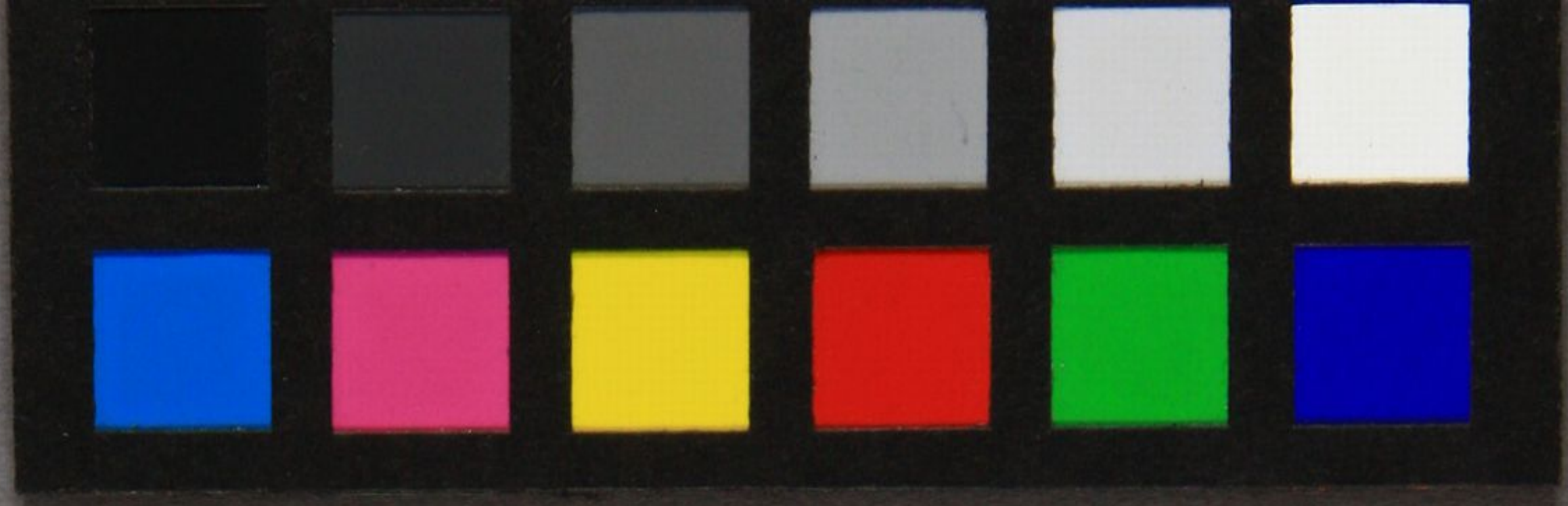




今 園崎へ書かす一十一時七分の下り  
 降る年より執田へ年より以て物休名有  
 尾二河に櫻下何人一所抄取存梅  
 是石橋田原と功司即ぬらりし  
 右部<sup>わか</sup>りしと山部念物入す  
 可兼足と名五七  
 左 後 以 せ じ と 秋 の 休 止 あり 此  
 六 白 牛 寺 八 時 四 十 分 頃 迄 あり 此







17

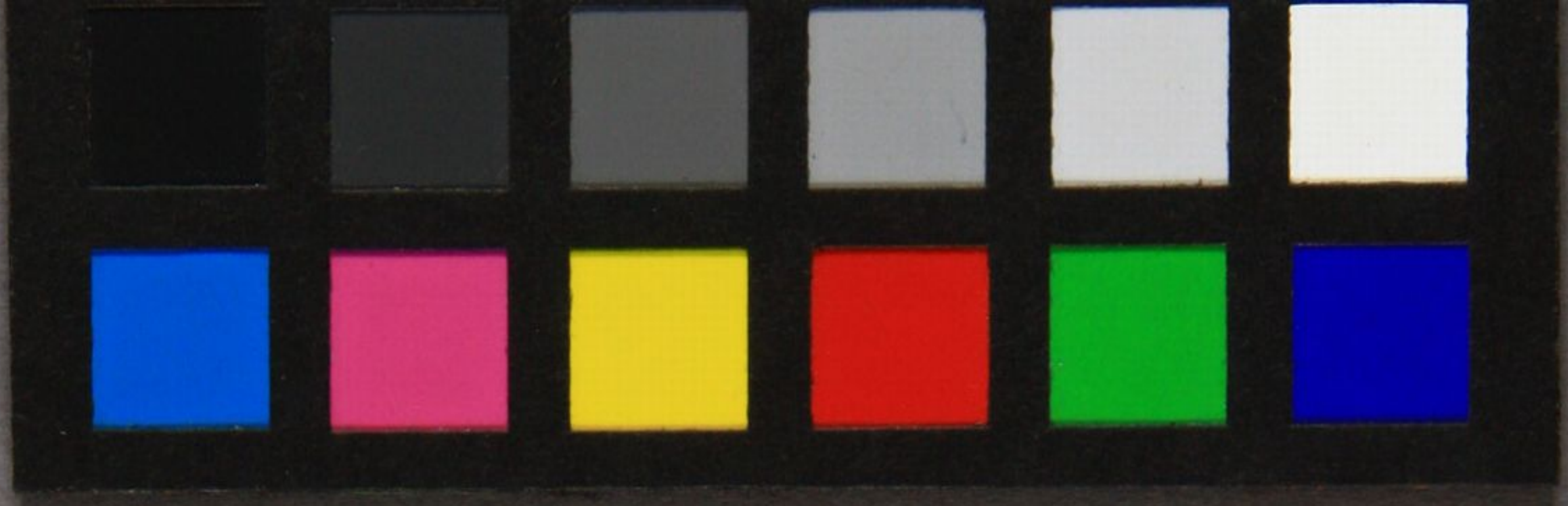


郵便はかき

此表面より八宿所姓名を限り認むへし

Handwritten Japanese calligraphy in cursive style, consisting of two vertical columns of text.





冠社中

平律清。連子。次。又。數。

福冠社中。楓。箱。裏。袋。

美形。子。變。為。尹。大。同。

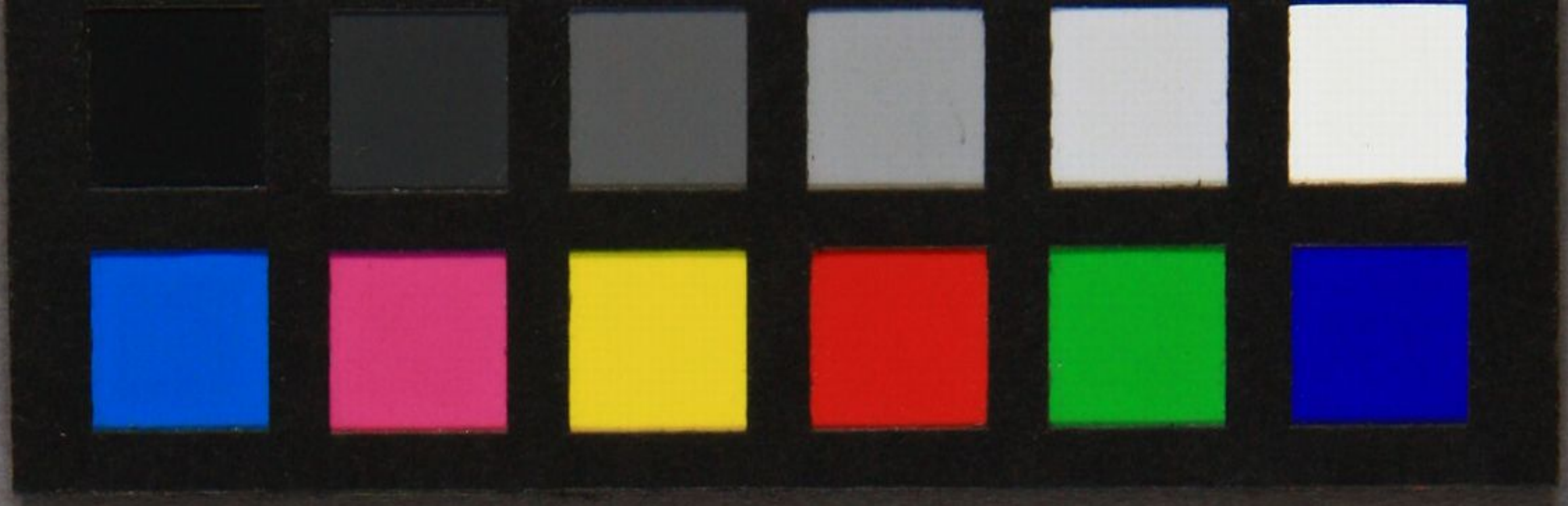
是

君思士

那。不。留。和。未。作。夫。心。受。







19



郵便はかき

此表面より宿所姓名を限り認むべし

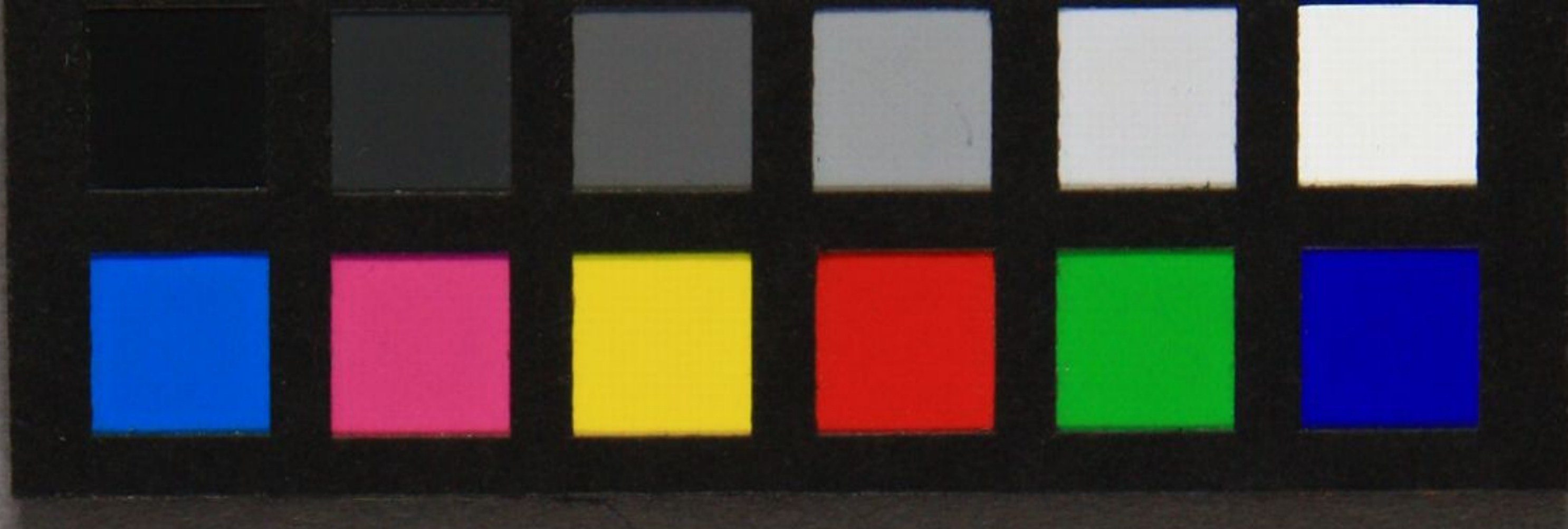
Handwritten Japanese calligraphy in cursive style, consisting of several vertical columns of text.











9



郵便はかき

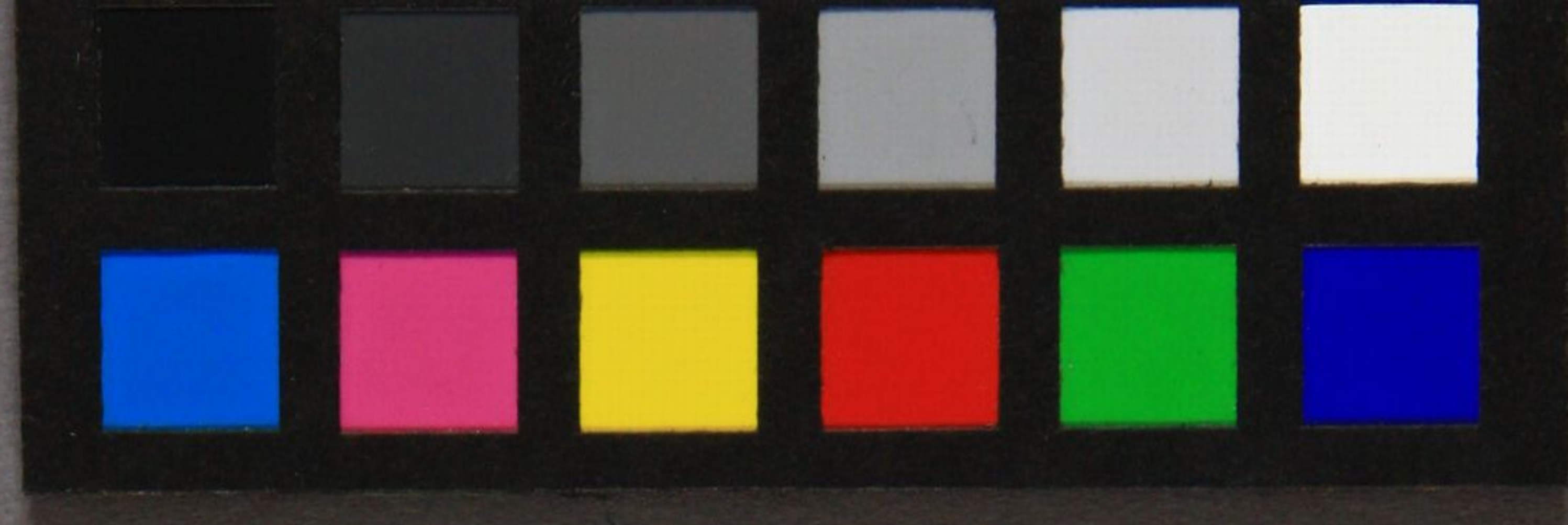
此表面より  
姓名を  
書き記し  
て送る

中  
之  
所  
在  
地  
を  
記  
す

大日本帝國政府郵政省印刷局製

9 140 1 2 3 4 5 6 7 8 9 150

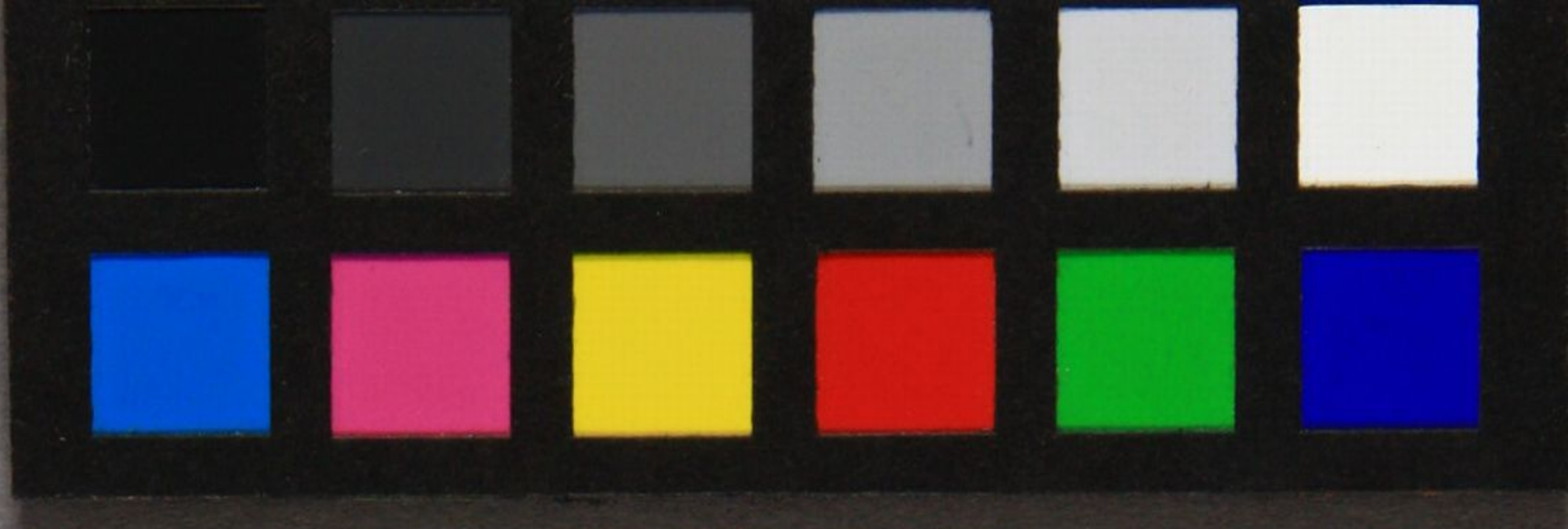




大 威 一 毛 之 自 身  
 舞 上 一 毛 之 自 身  
 也 也 ！  
 不 得 小 毛 之 自 身  
 不 得 小 毛 之 自 身







18



郵便はかき

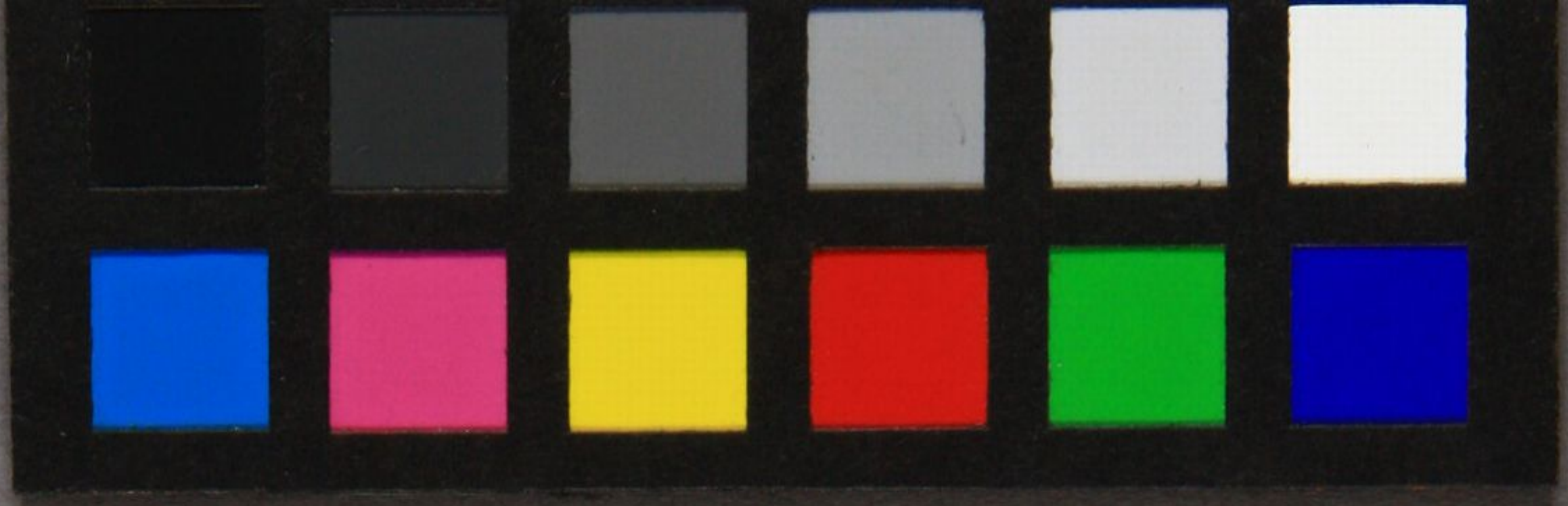
此表面より宿所姓名を限り認むへし

Handwritten cursive text in Japanese, including the characters '郵便' (Post) and 'はかき' (writing).

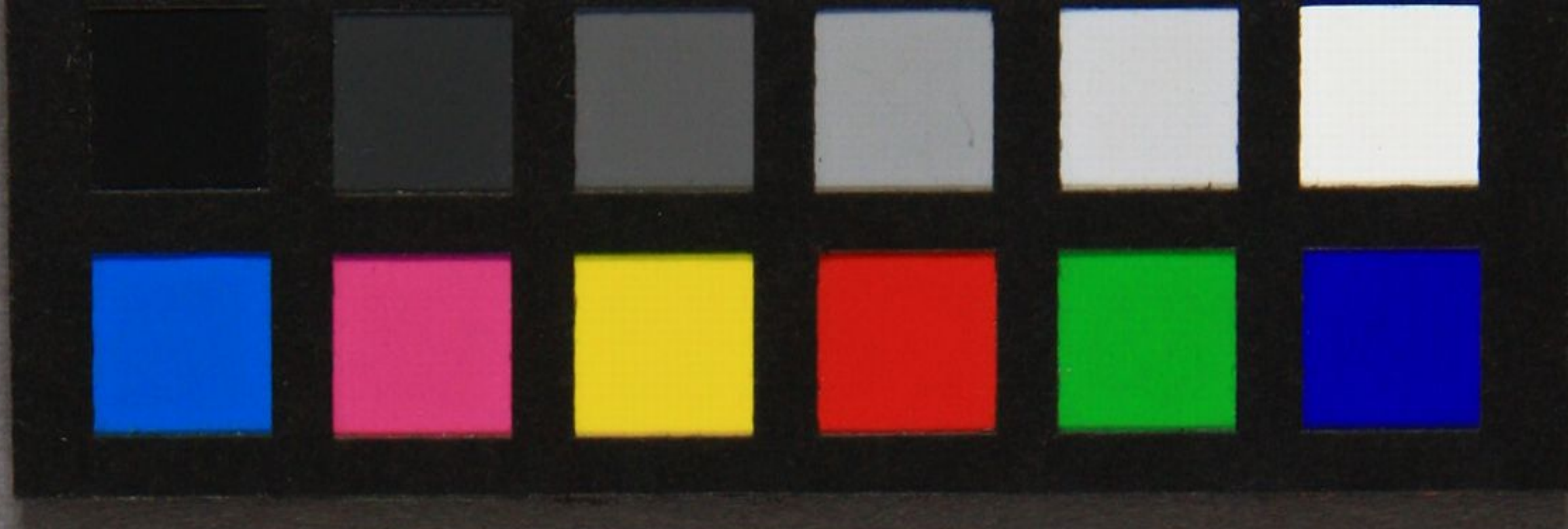




昨日多岐本末記一冊行  
寒の心も平ふる心も  
明く事ある中深者の  
乃命以の守るるわ  
例の道具たを  
井ヶ紅





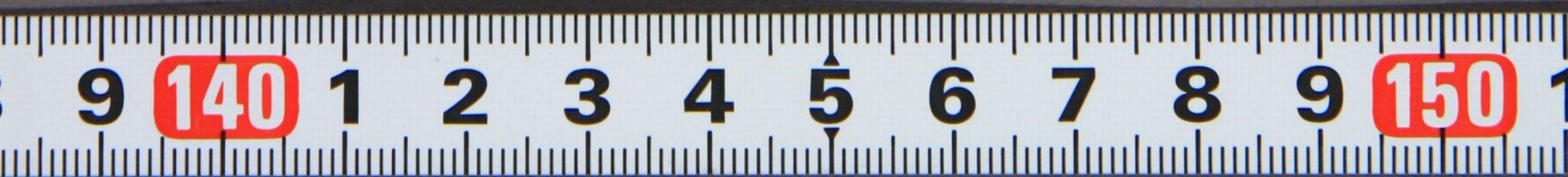


郵便はかき

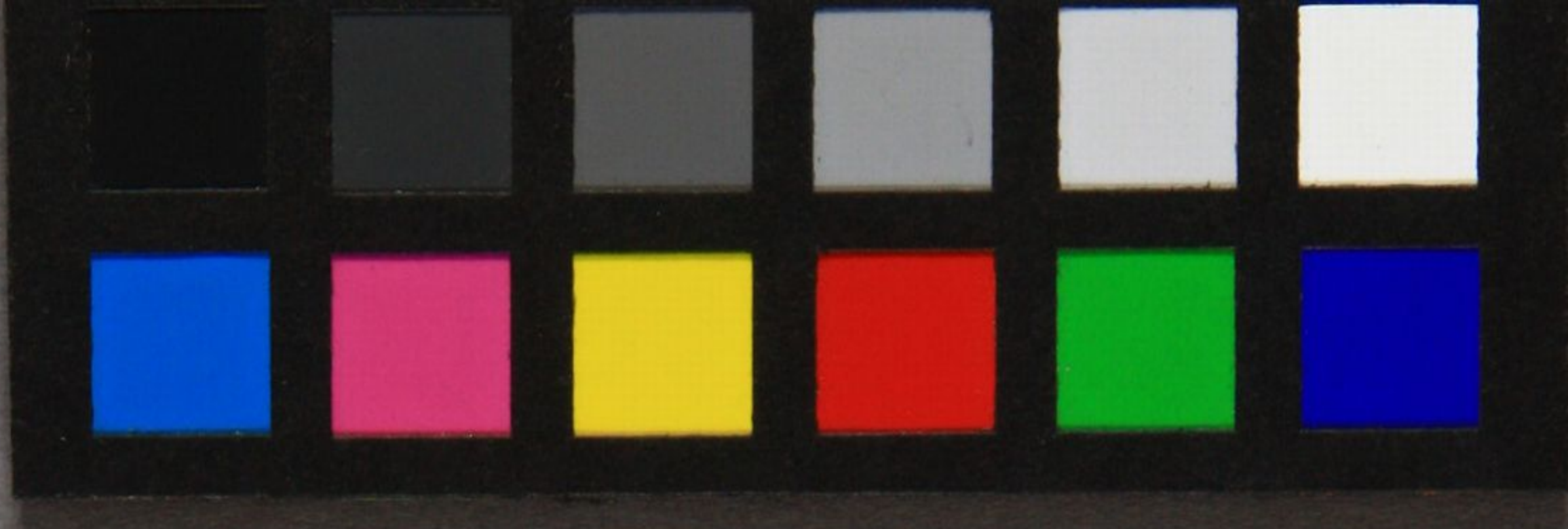
此表面より宿所姓名を限り認むべし

Handwritten cursive text in Japanese, likely a message or address, written in dark ink.

Handwritten cursive characters, possibly a signature or name, written in dark ink.



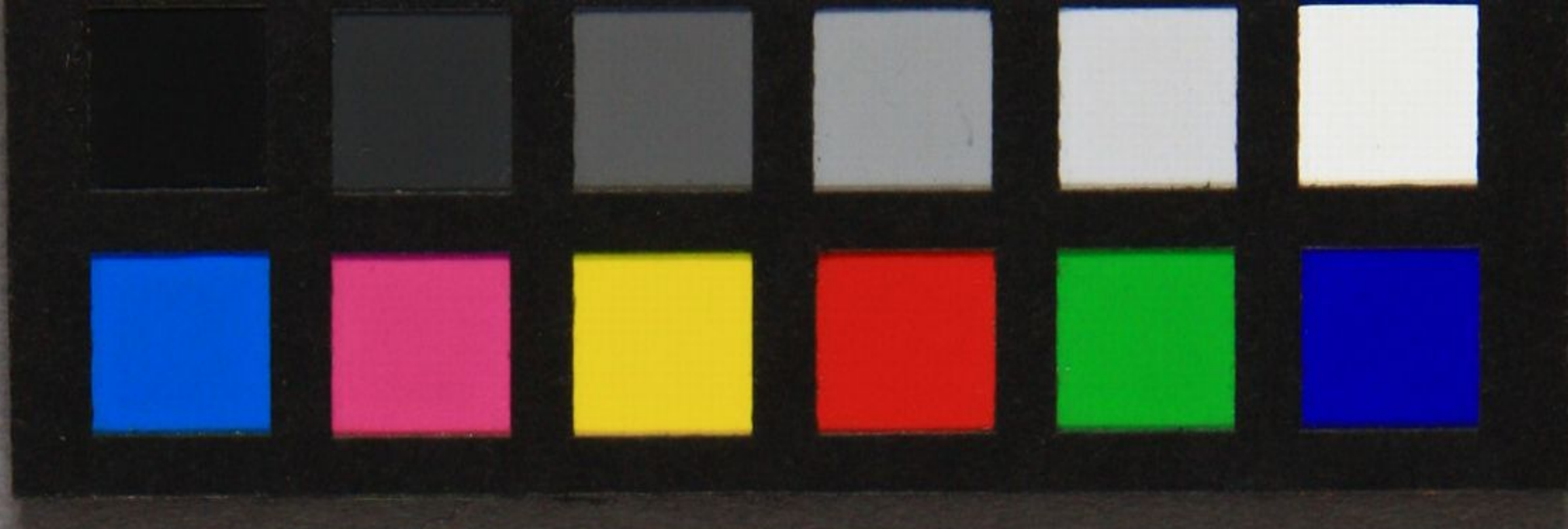




例 如 自 備 件 以 文  
 經 邦 建 國 瑞 雲 龍  
 名 師 出 世 如 日 中 星  
 子 孫 萬 子 孫 萬 子 孫







27



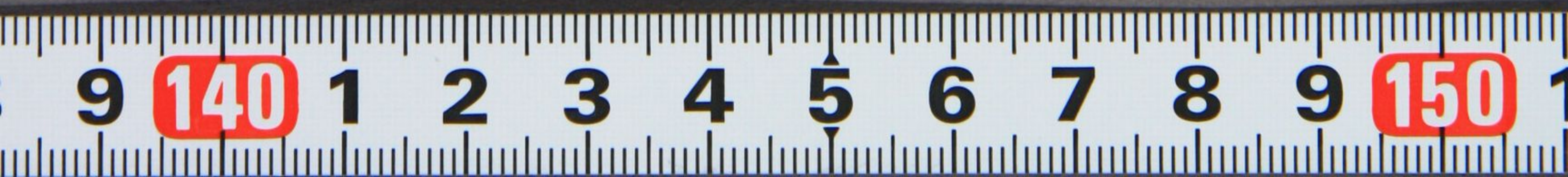
Handwritten calligraphy in cursive style, consisting of three vertical columns of characters.

郵便

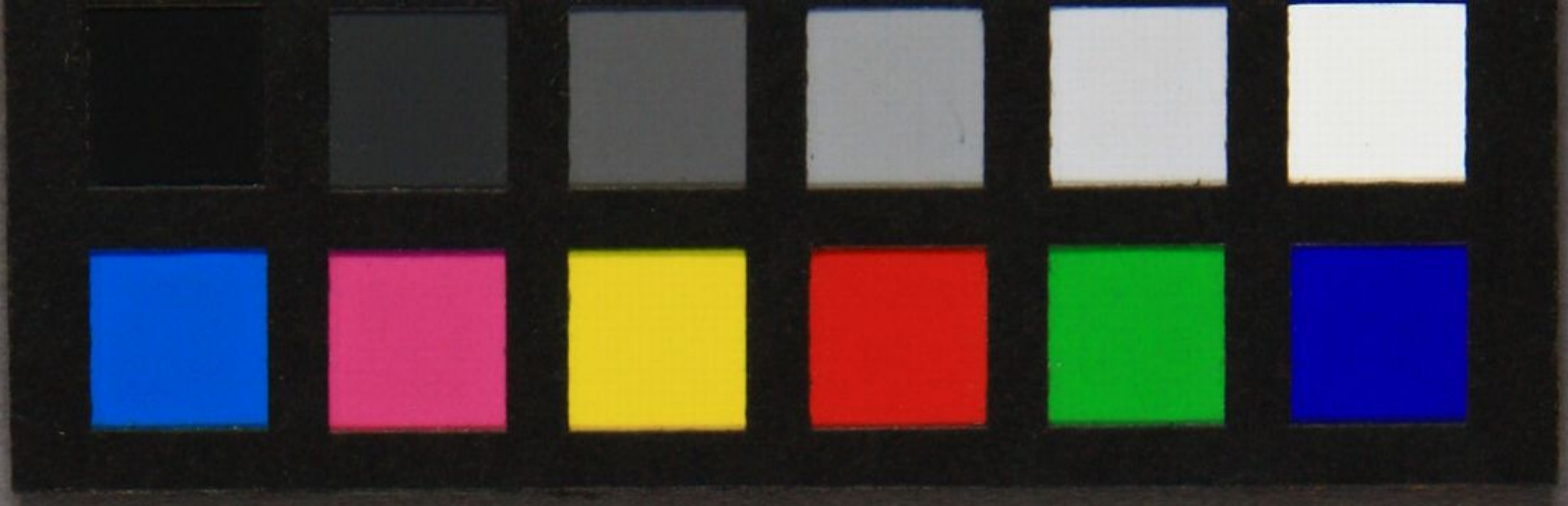
Handwritten calligraphy in cursive style, consisting of two vertical columns of characters.

此衣面... 名...

造製局刷印省藏大府政國帝本日大







漣山人新著

菩薩寶鑑

蘇桔梗

(會卷)  
(中後)

春陽堂

眉山人新作

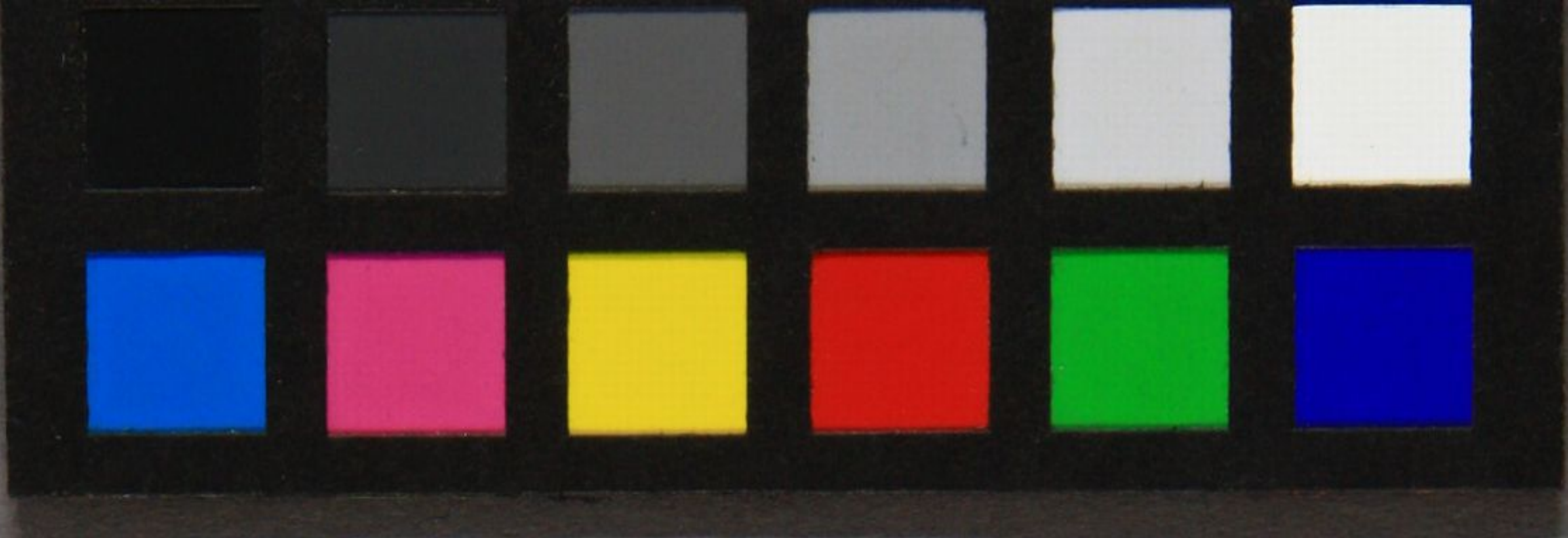
袖頭中

一十  
日月中旬

完

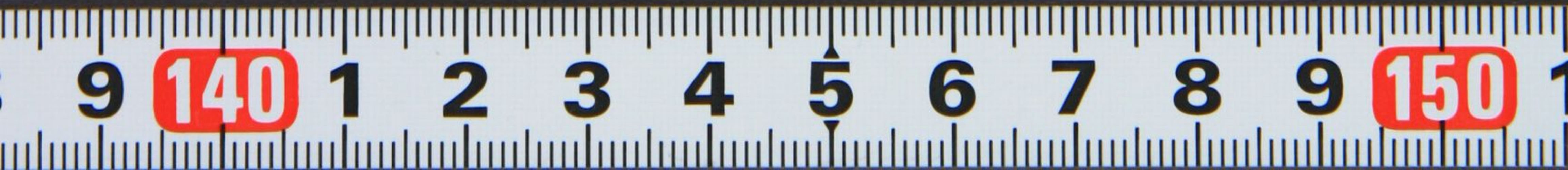




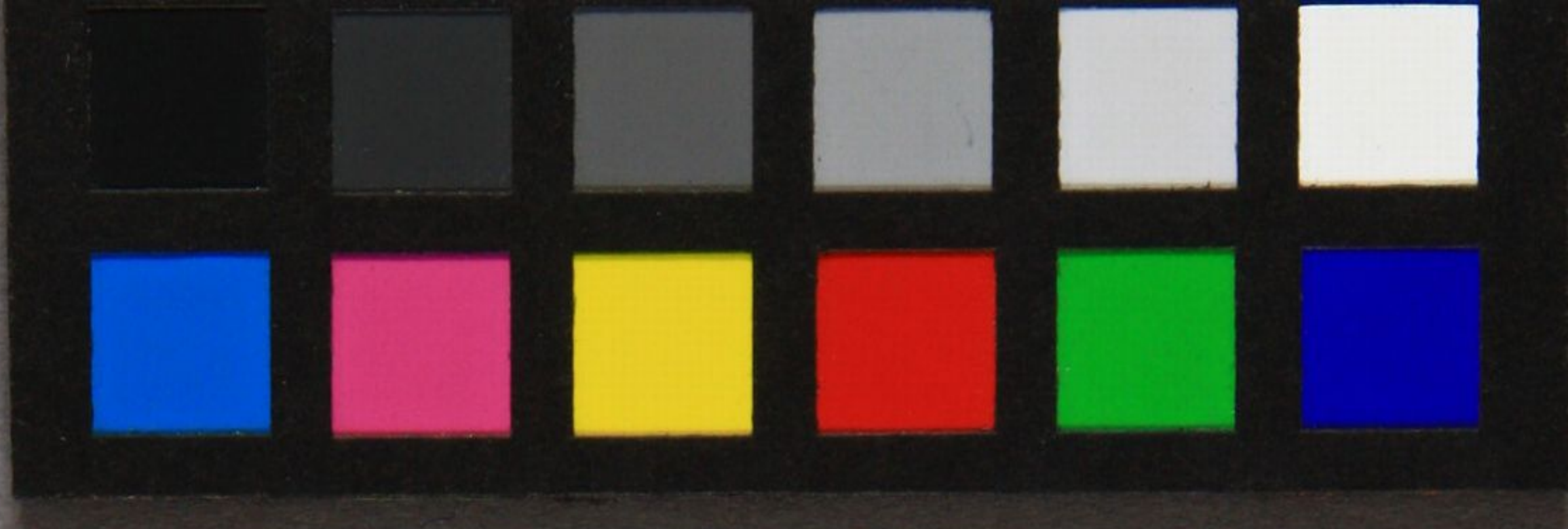


郵便はかき

相可箱根塔の  
笠本乃  
以人申







賀正の儀に  
先づ御慶  
賀の儀に  
先づ御慶

あゆむ御慶  
賀の儀に  
先づ御慶

七言 賀正の儀  
先づ御慶  
賀の儀に  
先づ御慶

新  
年

巖谷季雄

柳馬場御池下  
京都府上京區  
柳馬場御池下

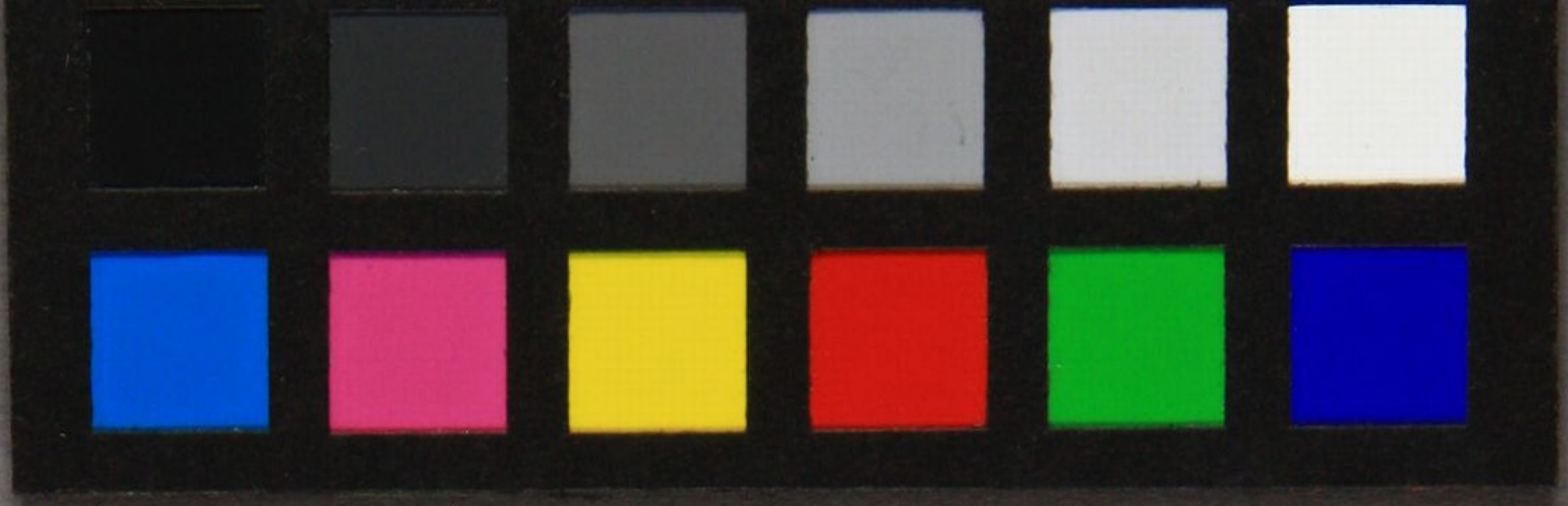
京都府上京區

柳馬場御池下

賀正の儀に  
先づ御慶  
賀の儀に  
先づ御慶







29



東京小石川區  
二番町  
北所

江戸区  
三番町

三番町三四

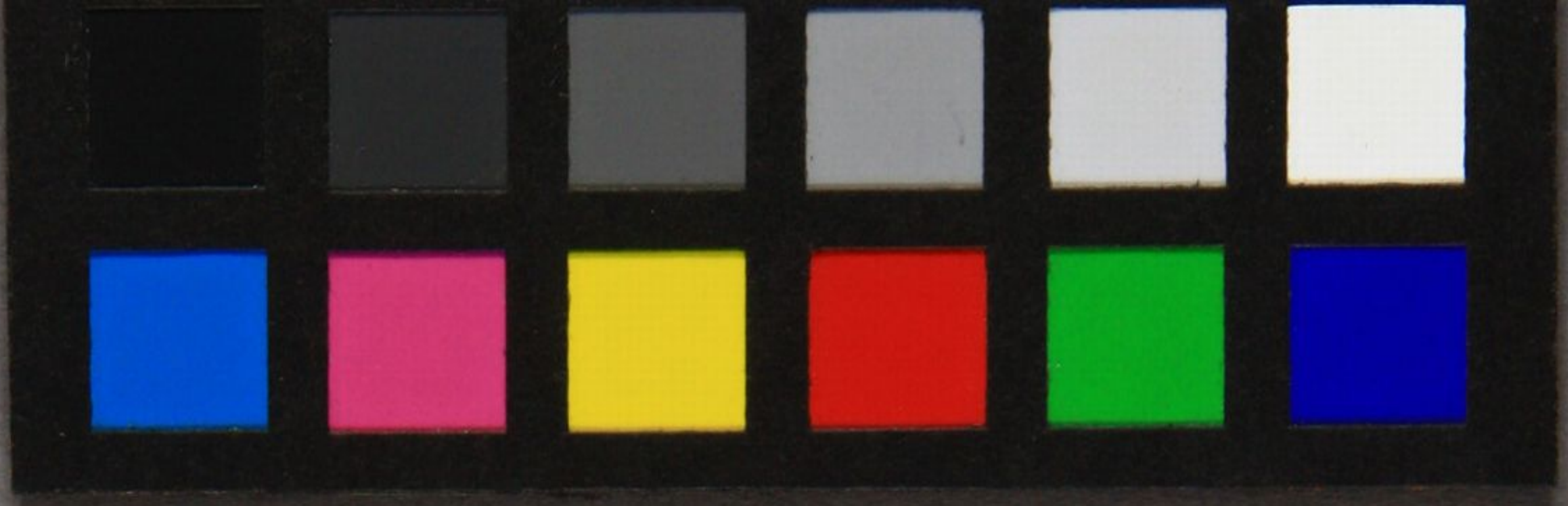
郵便はかき

此表面より八宿所姓  
名を印し認む

辛  
多  
形  
多



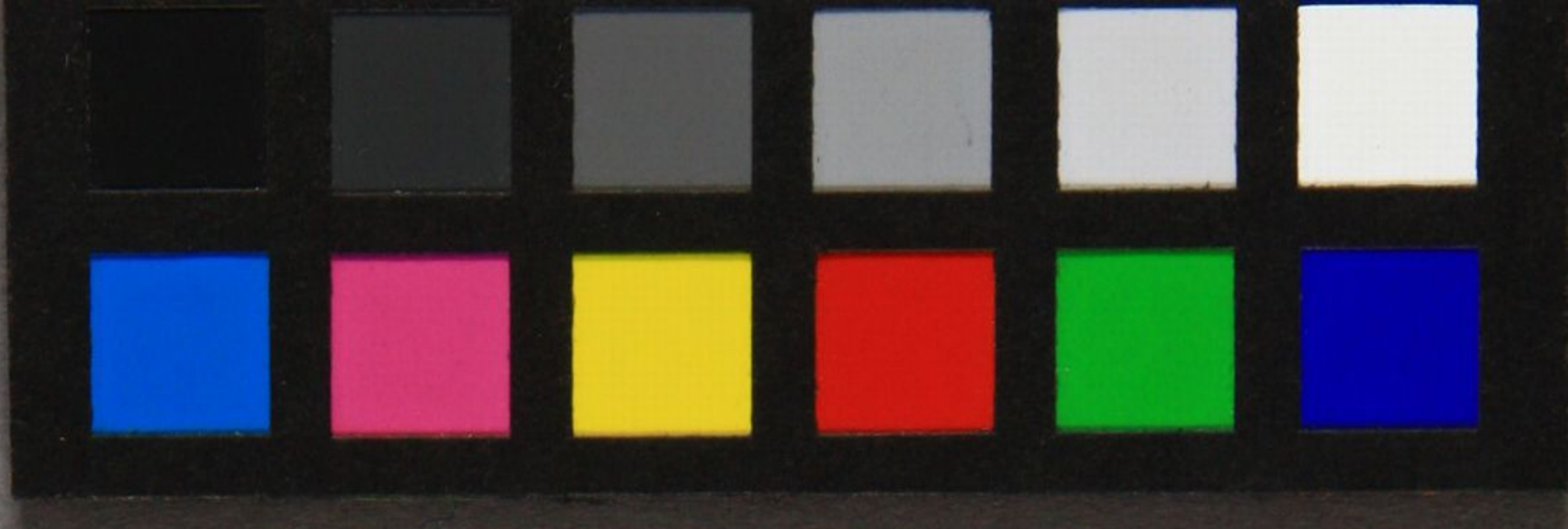




ありけりる部 くらに 常と 満み  
 於 月 ぬ 未 ぬ 甚 句 と 以 全  
 何 ぞ 以 了 日 澤 ぬ 於 此 ぬ 此  
 高 ぬ け 江 産 出 ぬ 助 辨 下  
 高 世 治 り ぬ 神 々 け ぬ 斯 得 の  
 不 三 ぬ 了 致 ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ  
 以上







20



本庄安軍一多地  
江見水産種

大樽新

郵便はかき

此表面より宿所姓名を限り認むへし











郵便便かき

市外南品川  
稻荷村畔

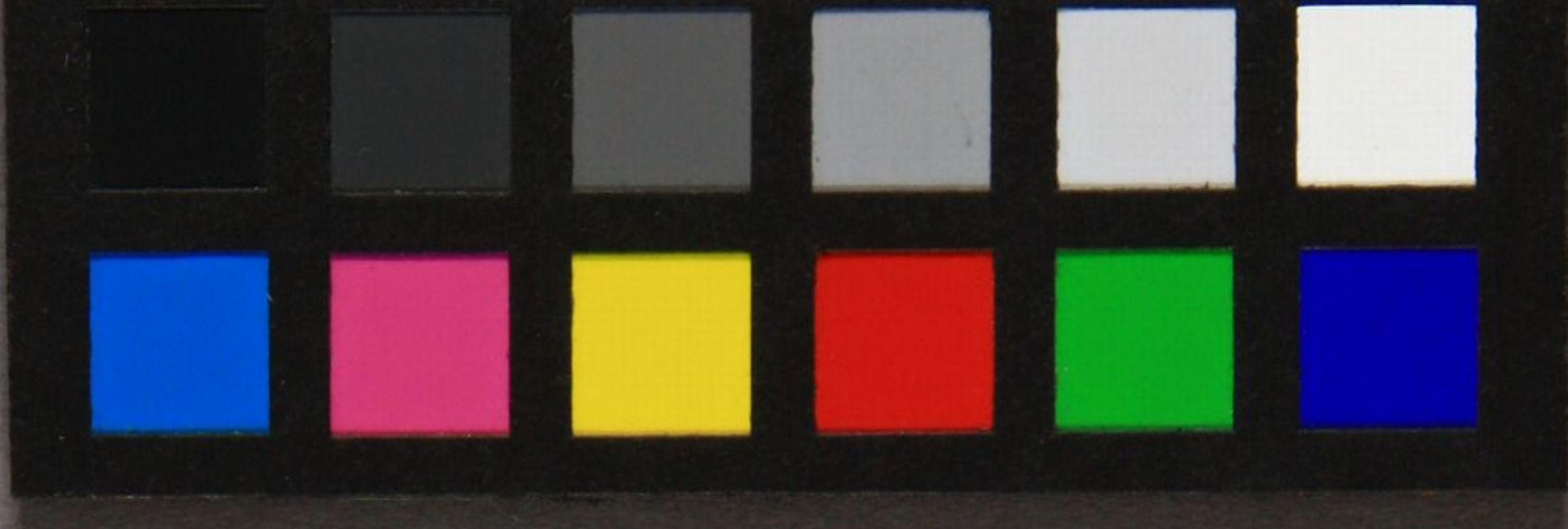
江見水菴詞免

印刷局製遺

逓信省發行

9 140 1 2 3 4 5 6 7 8 9 150





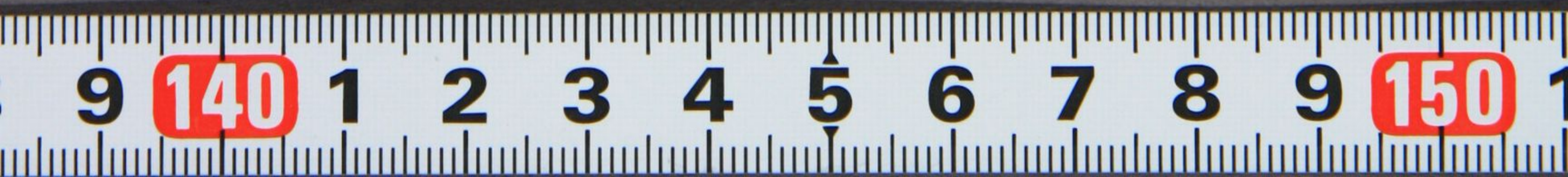
持候 迷ひ子可四五

年子りおえもきり

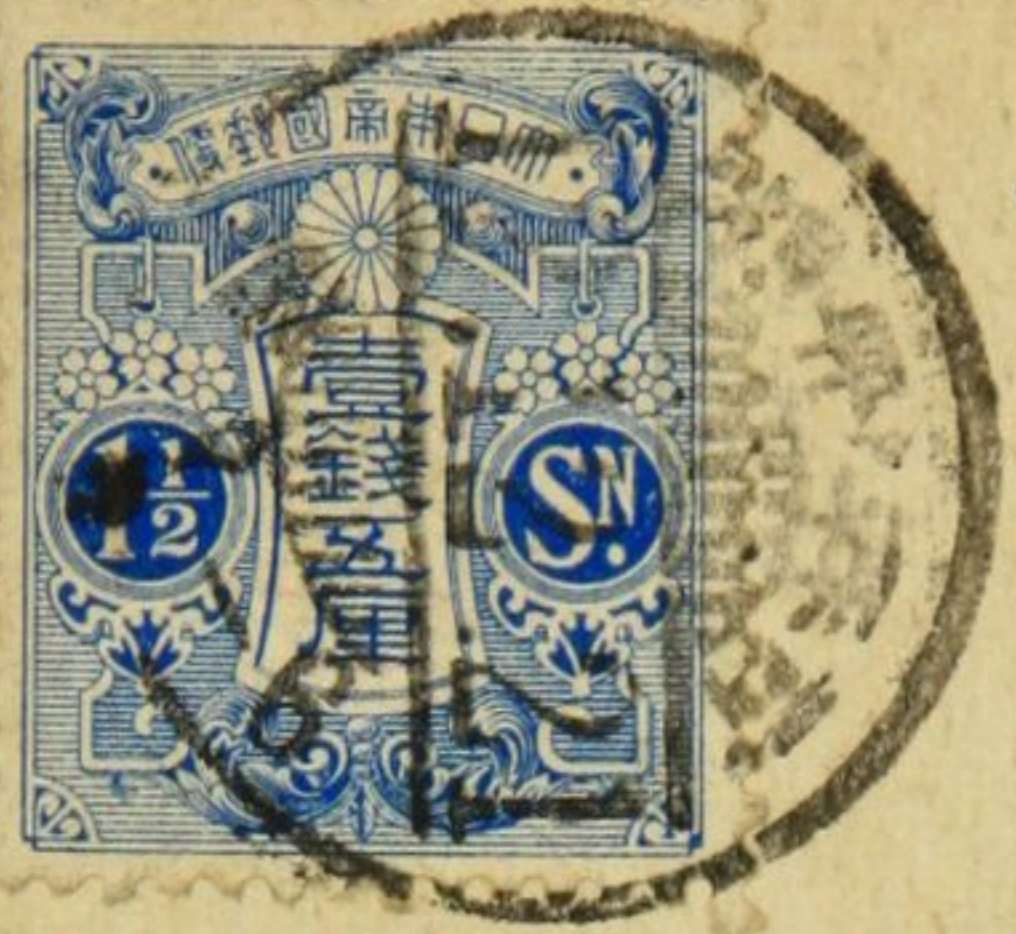
とておほしめと御

受取取方方小小右右名名多多罪罪三三六六

二月十日 方所在月







郵便はかき

2

東京市外  
南荒川 二五二  
江見水蔭様

葛山

Union Postale Universelle  
CARTE POSTALE

又よくはんも  
はんはん  
はんはん

はんーかく  
はんーかく  
はんーかく

はん  
はん  
はん

桂月

十二月廿日

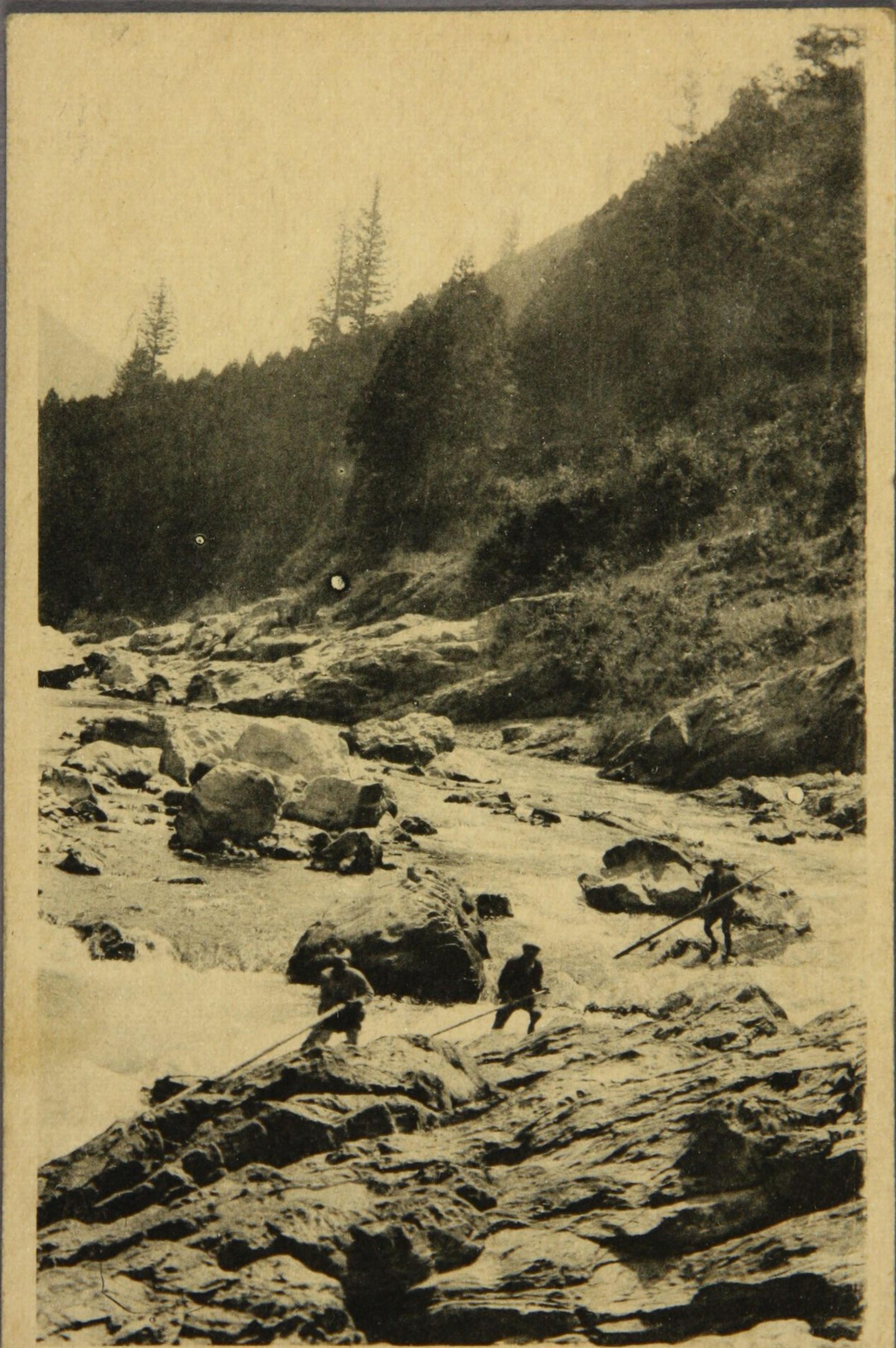
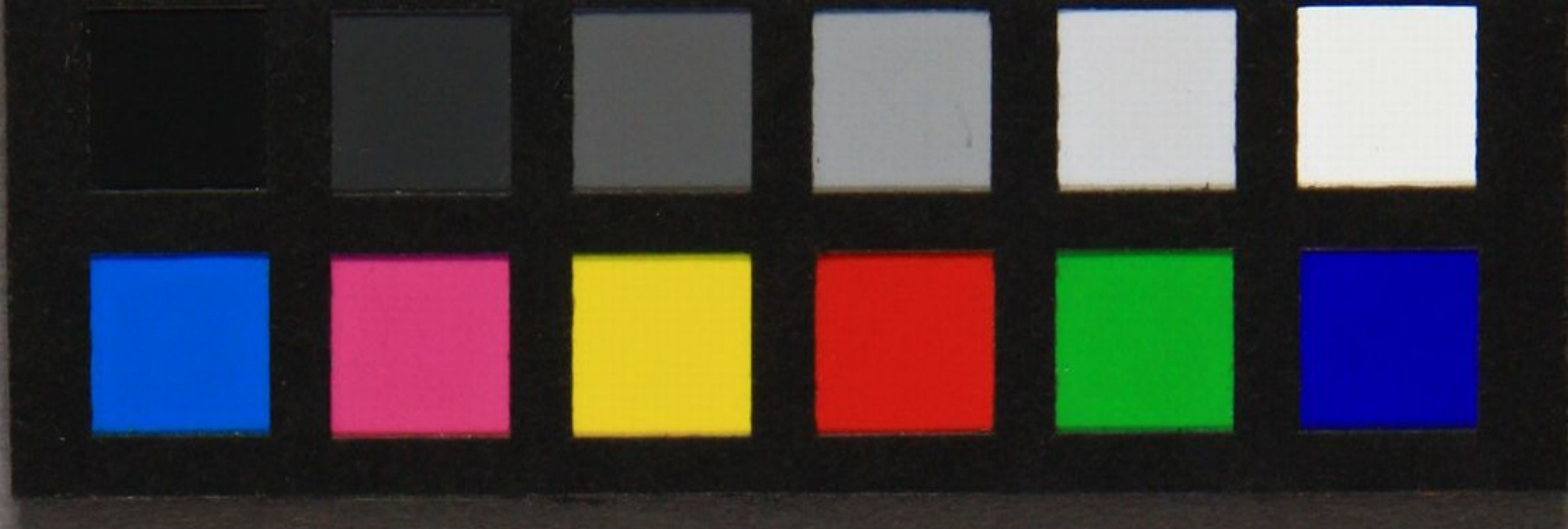
味美申

怪物每晚  
申美  
味也

猫はん  
羽織着  
はん

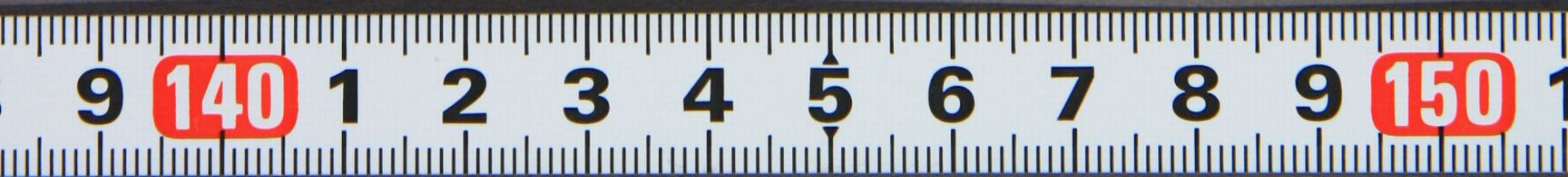




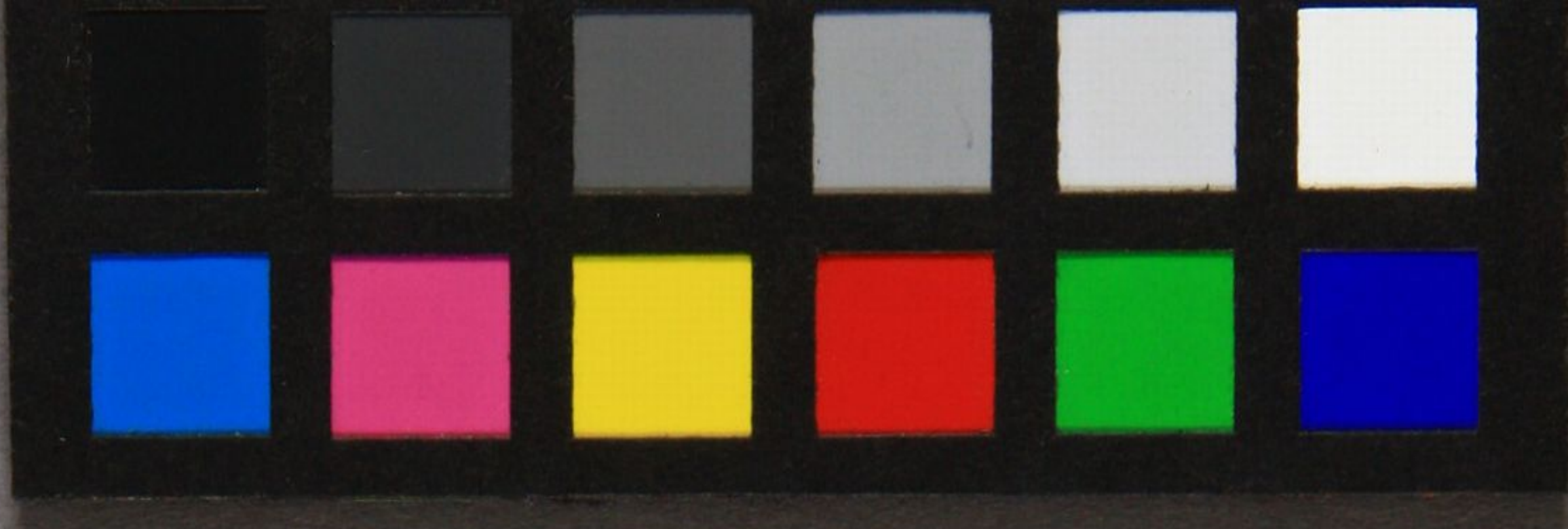


(行發堂生味谷嶺大和大)

景の流筏川野吉







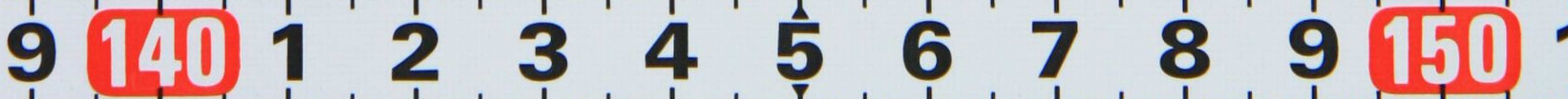
東京牛込區  
北町二番地

江見忠切殿



郵便はかき

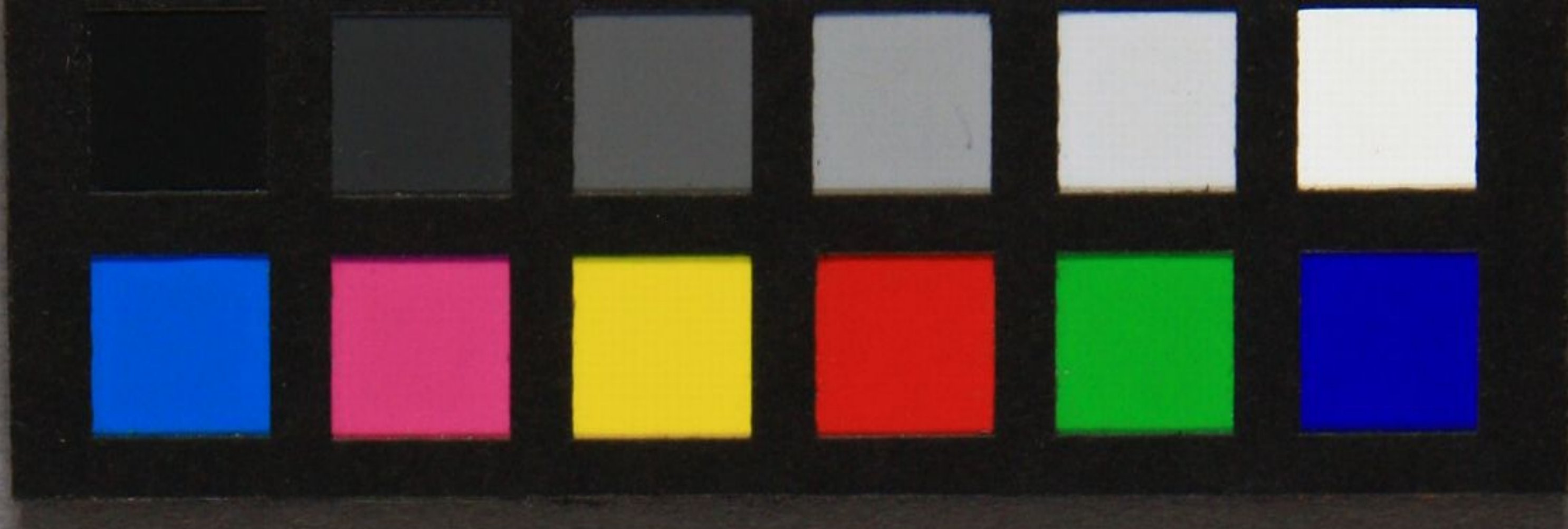
此表面より八宿所姓名を限り認むへし











34



牛込北所字  
江見虫功祝  
為記

本郷

郵便はかき

三子百

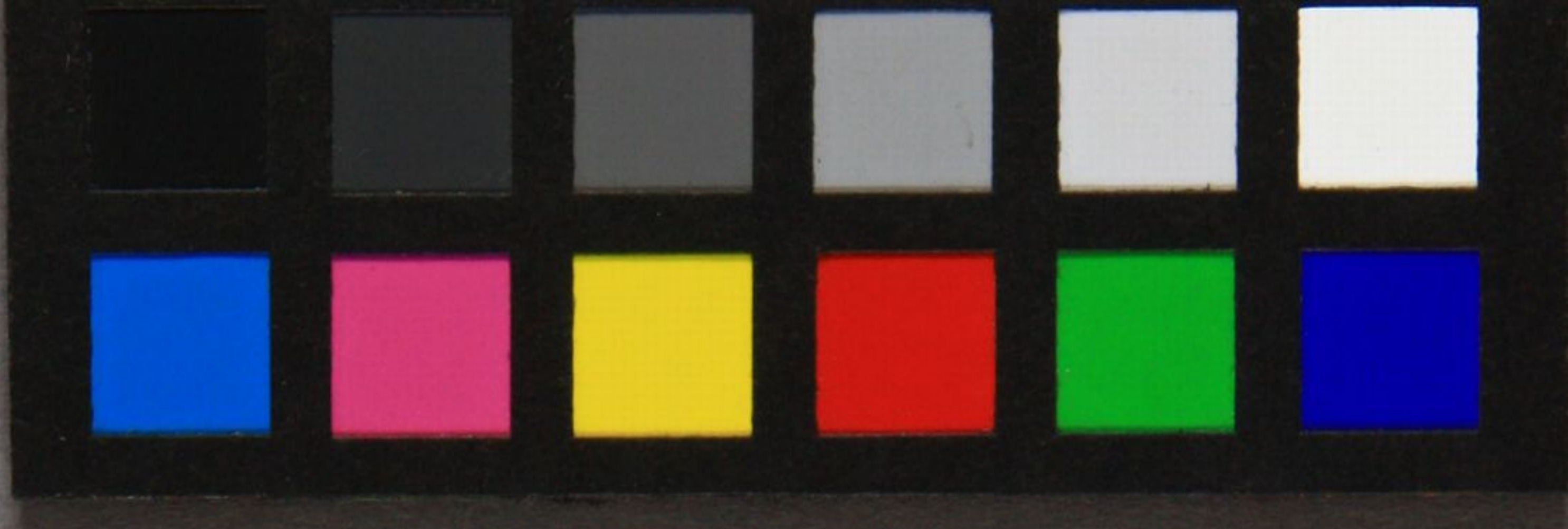
表面に  
名を限り認むべし  
葉





○山六為書院後と云ふ如何なる人か  
 傾慕の折に約 紹唐を執志  
 ○此 仕合人又我を許さるる事也  
 一 箋の字ある歟  
 × 名日良学小圃は山陰なり  
 ○宝の山以檢分古漏も從すみ次事  
 早來返書申送る





23



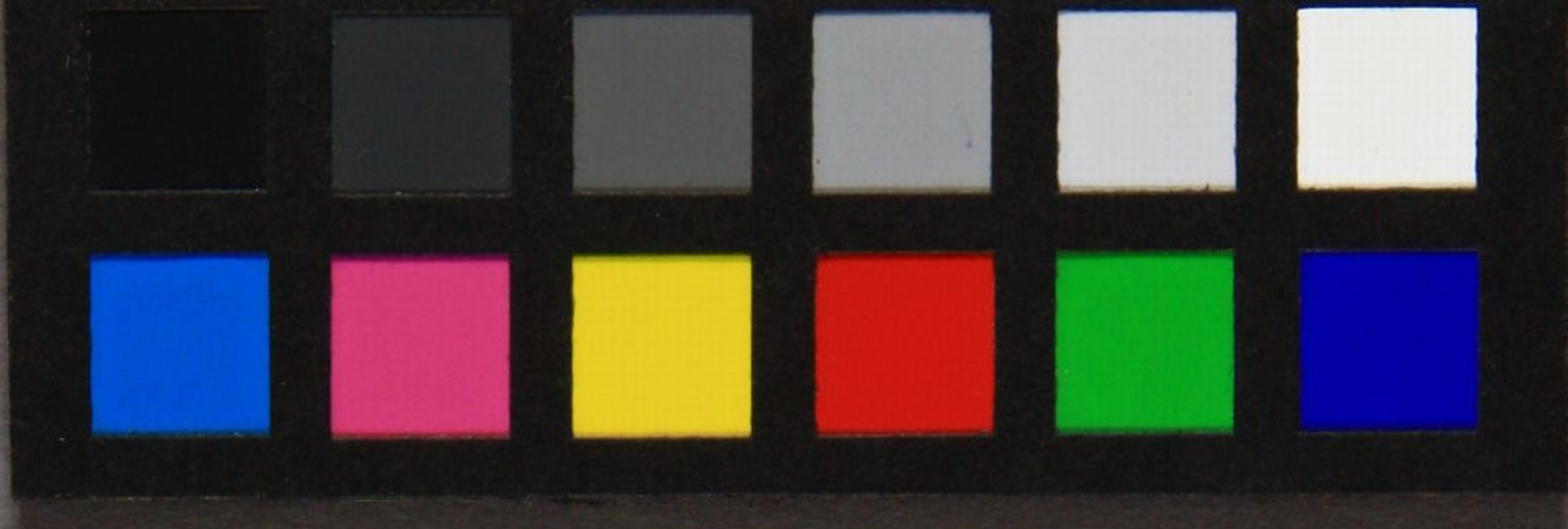
年以比用早人為地  
江具水蒼舊表

郵便は

多  
此表  
名を限り認む







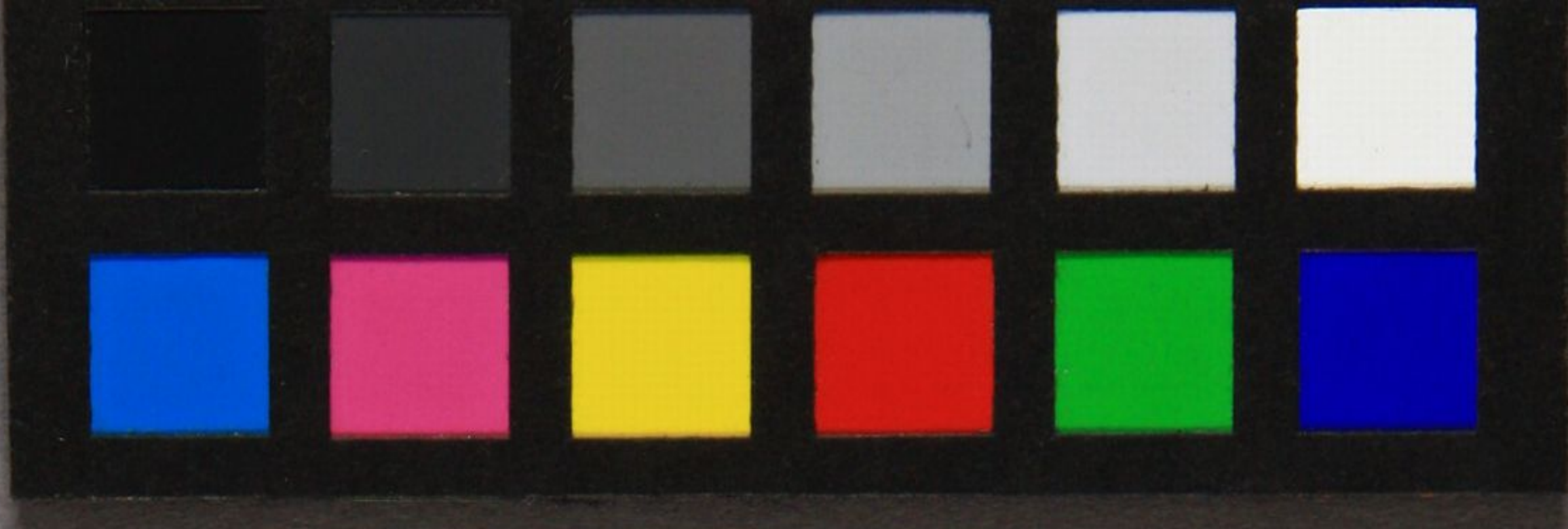
朝息

浅き岸に夜まゐりて理想の後  
取るふ足は遠く眼孔を大ふせよ観  
念を高くせよモウツリ書あを  
読め!

富の山あつらふはふふふふふふふ  
存子の粗なる物のみよの露あを  
新垣の







22



牛込北町四丁目  
江見忠平殿

郵便はかき

此表面にハ宿所姓名を限り認むへし

大日本帝國政府郵政省印刷局製

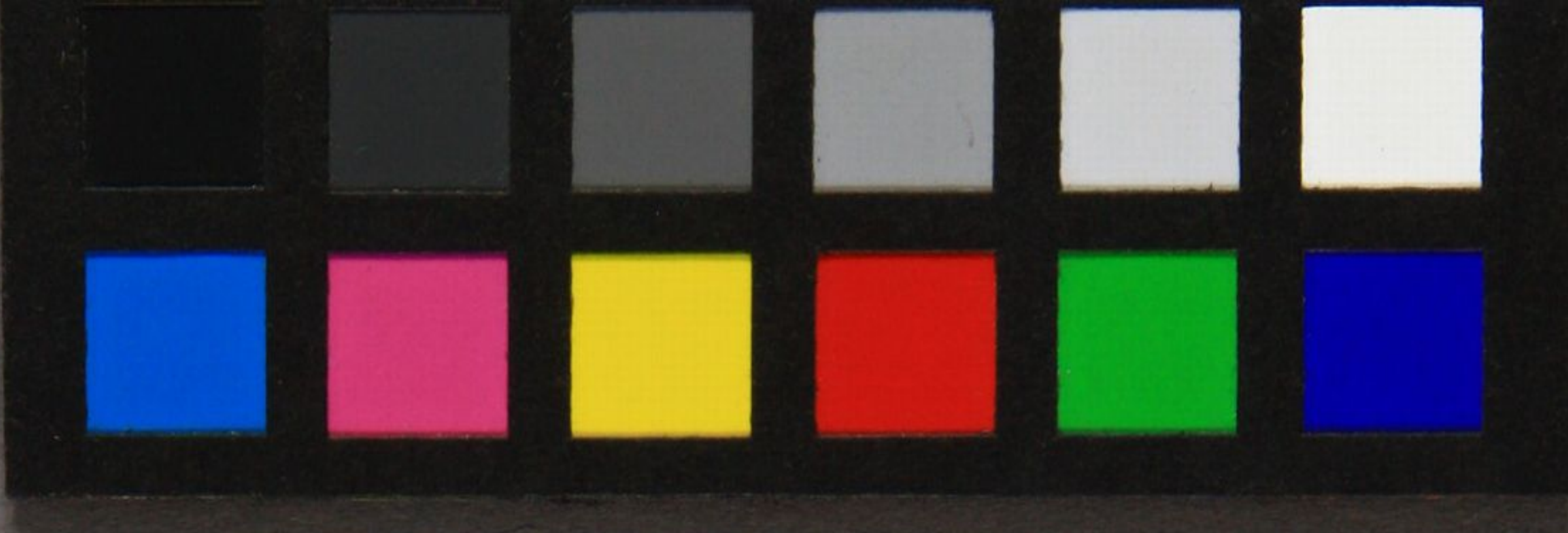




武王川後草

お蔭にてお年々又々了々  
水合は誠々 頼り人  
嬉々は云々 信々  
河々々々々々々々々々  
いさよる用達々々々々々々  
信守年込ささかから





33

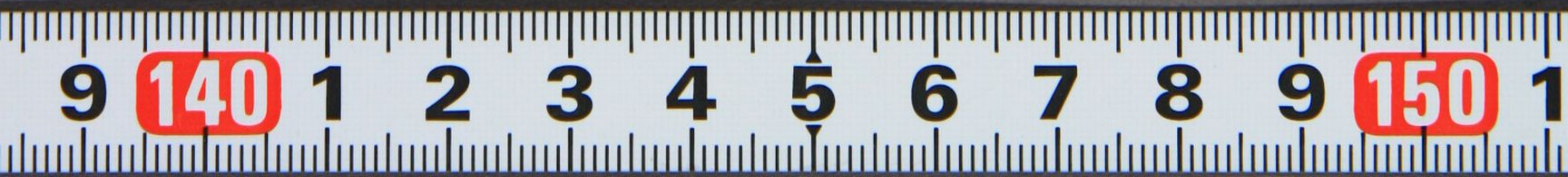


牛込区北所  
四十八番地  
江真屋中町  
板

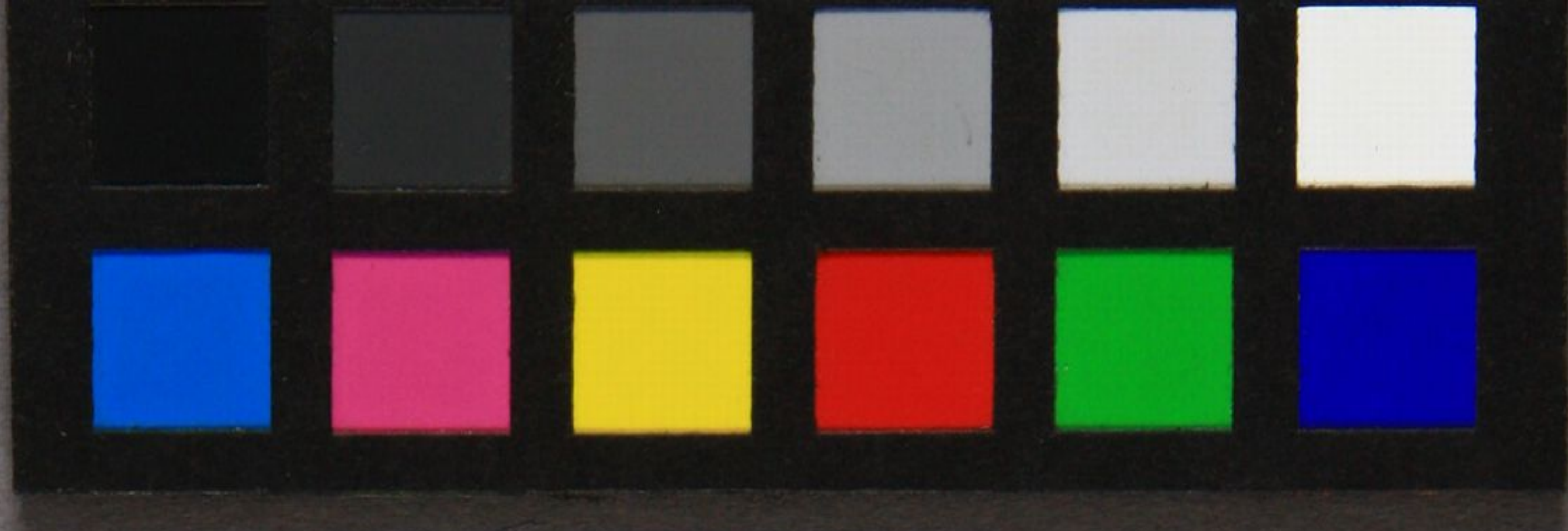
郵便はかき

此表面ハ宿所姓名を限り認むへし

大日本帝國政府郵政省印刷局製







門  
抄  
本  
抄  
本

九  
日  
辛  
午

小  
石  
河  
五  
字  
家  
坂  
所

四  
十  
七  
日

川  
上  
之  
其  
貴

9

140

1

2

3

4

5

6

7

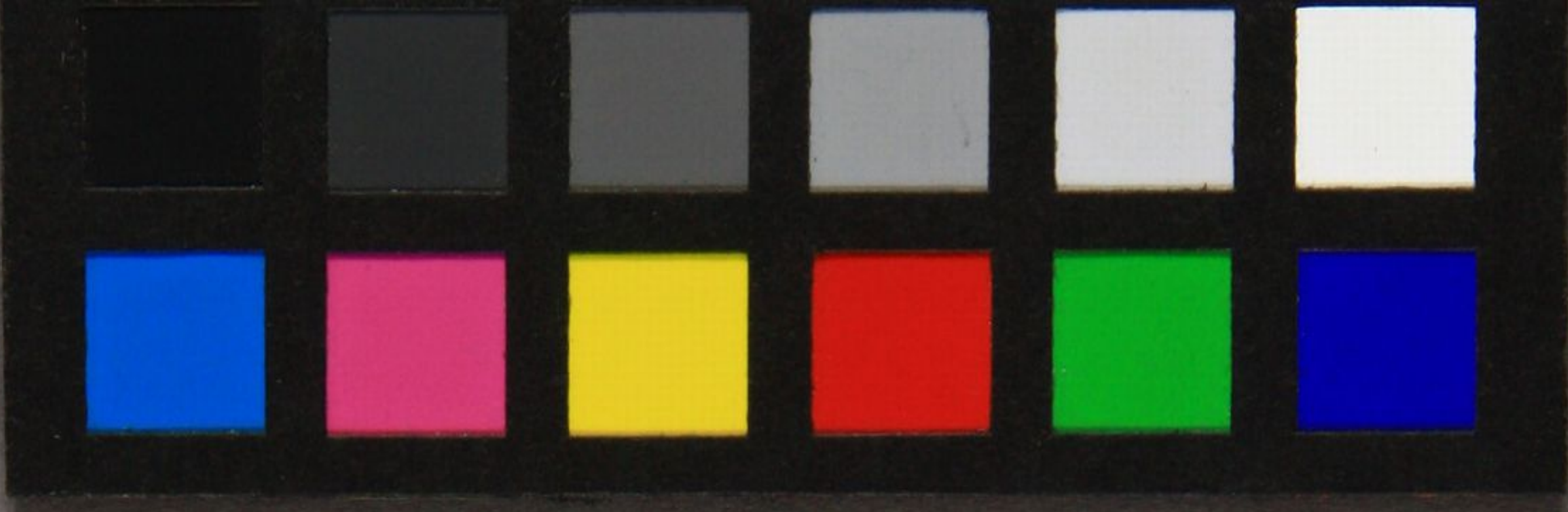
8

9

150

1





5



郵便はかき

表面にハ密可姓  
名を限り認むへし

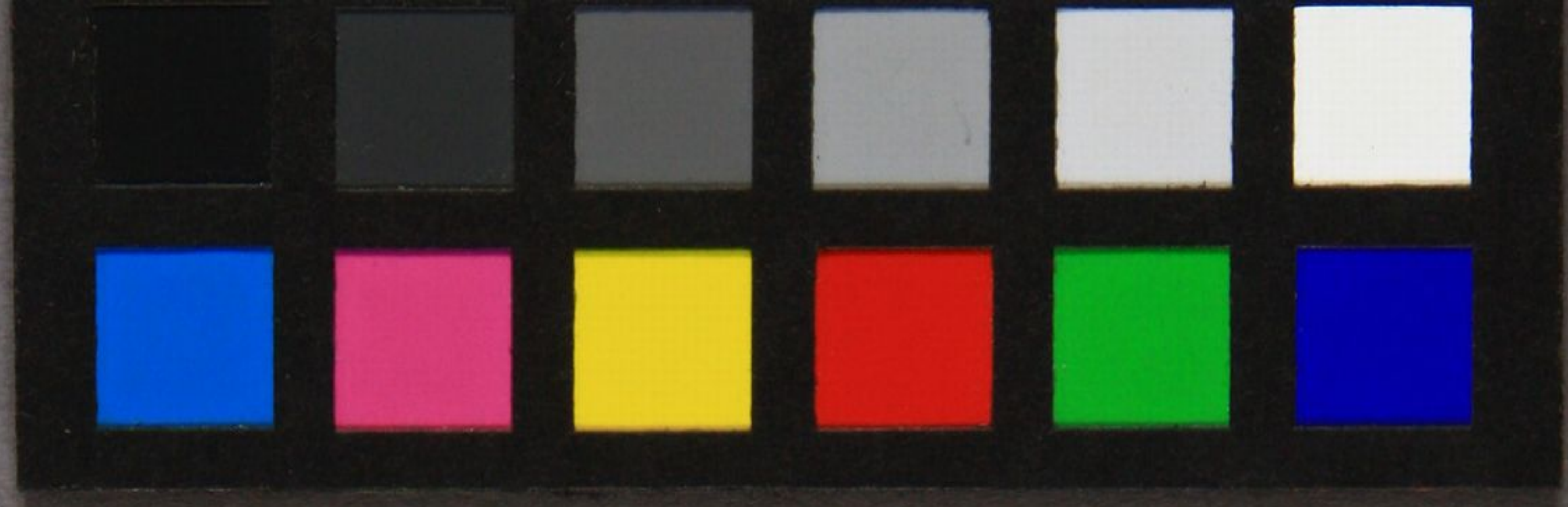
牛込北所  
江見  
中口  
印  
在  
一  
每  
地

上  
字  
多  
物  
下  
在

大日本帝國政府郵政省印

9 140 1 2 3 4 5 6 7 8 9 150 1





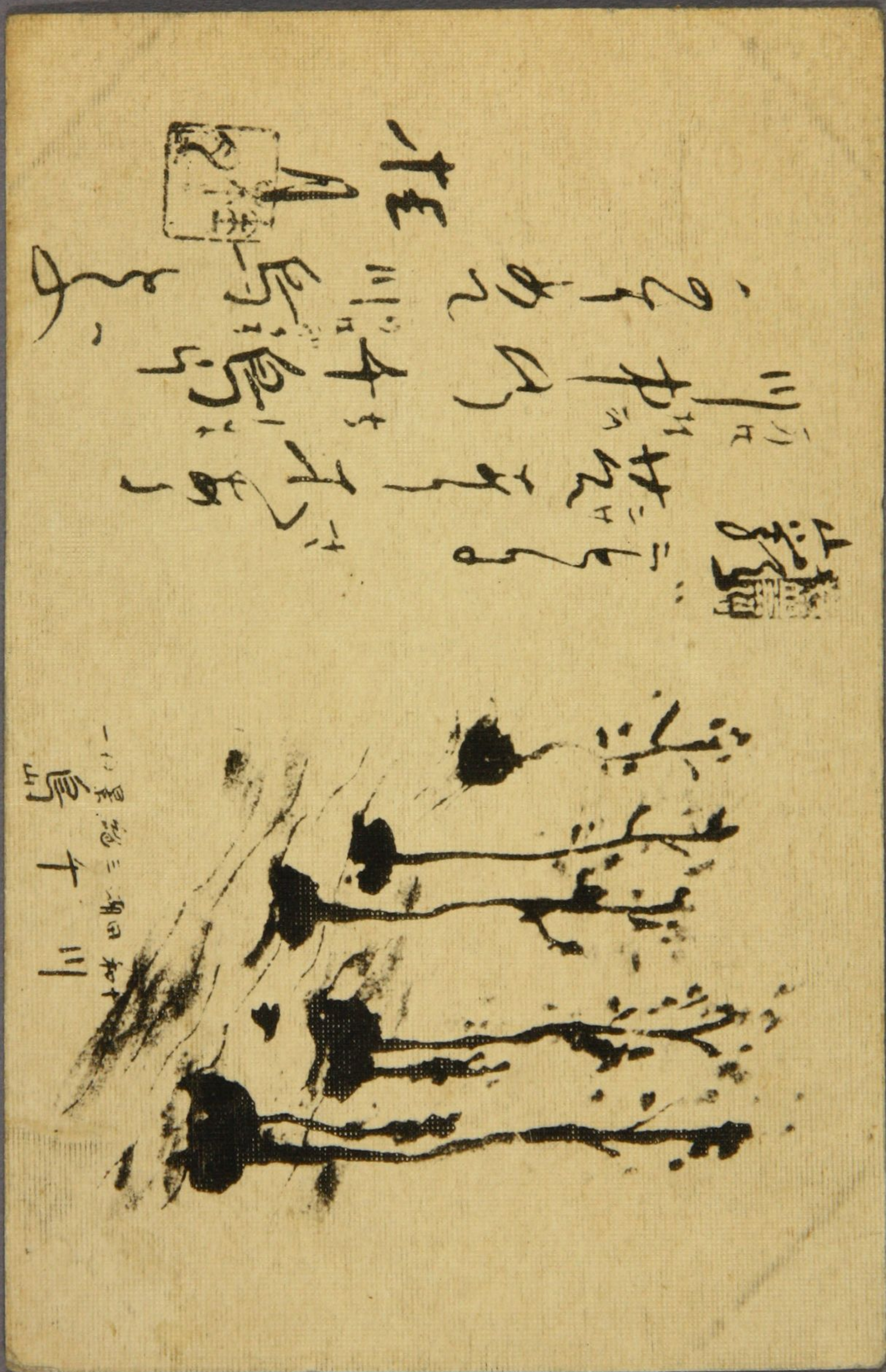
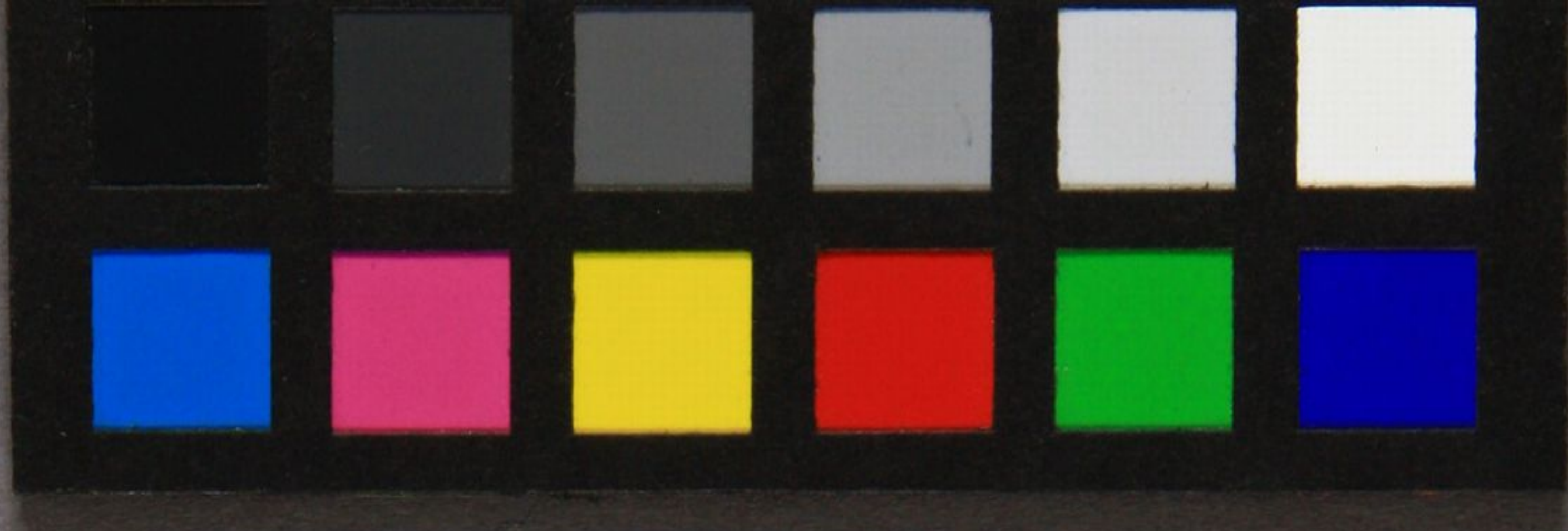
折角の好類を何と因りて  
 似て裏に疵き子地を  
 稀麻生草年一  
 訪人して成りて海子  
 馬子らるるのりて寸  
 之と自息しりて  
 ありて書りてのりて









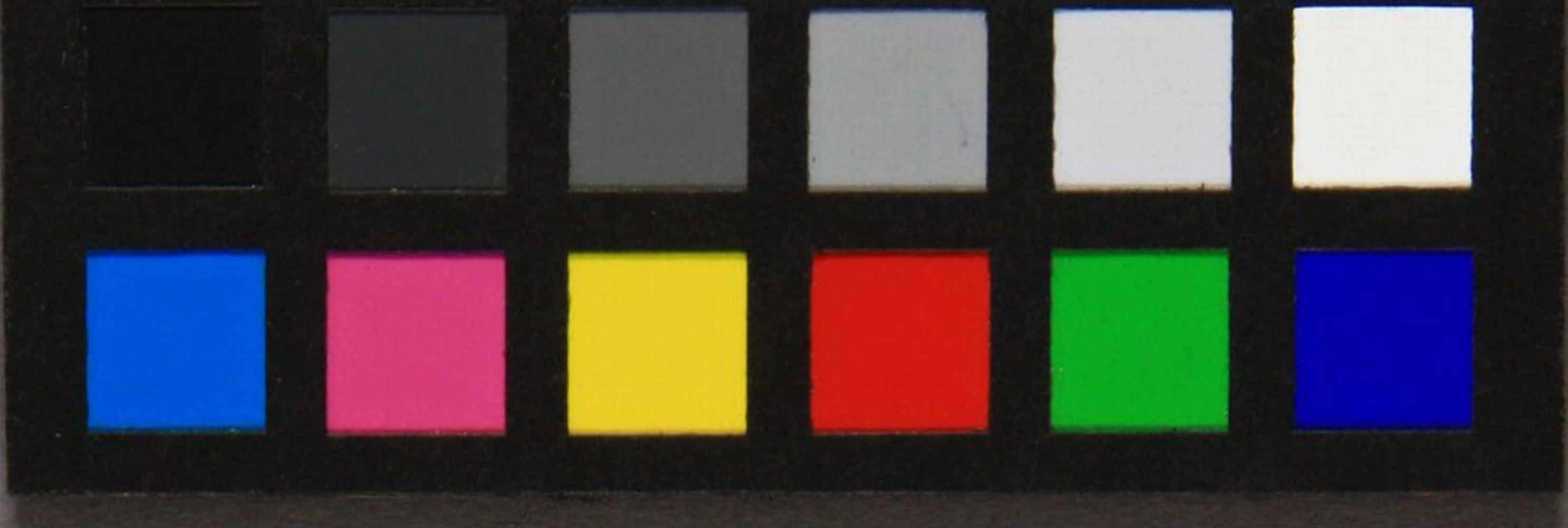


在  
 鳥山  
 純三  
 湖田  
 和十  
 鳥山

一〇星純三湖田和十  
 鳥山

9 140 1 2 3 4 5 6 7 8 9 150 1





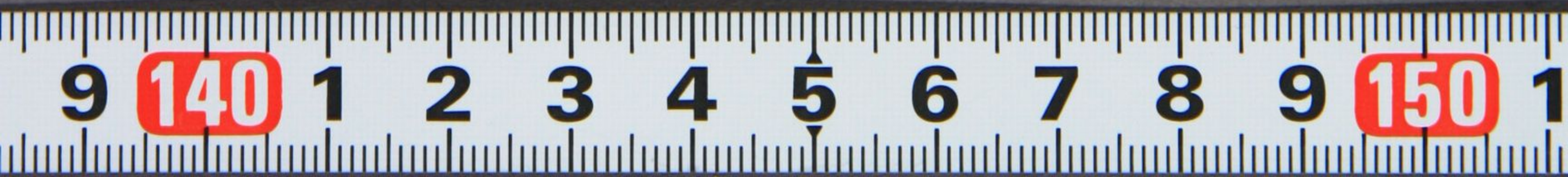
郵便はかき

母

此表面ハ八宿所姓  
名を限り認むへし

相方官報塔ノ次鈴木屋方  
江見多蔭  
出敵方陣上  
雨足  
田  
瘦

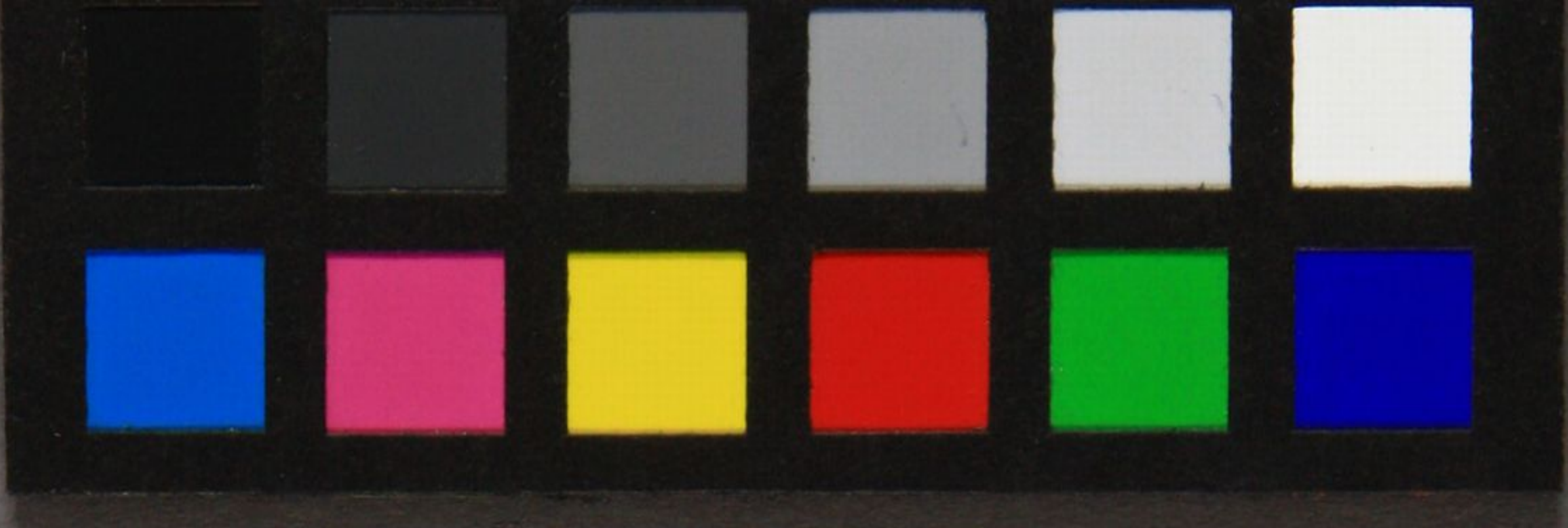
瘦











きかは便郵

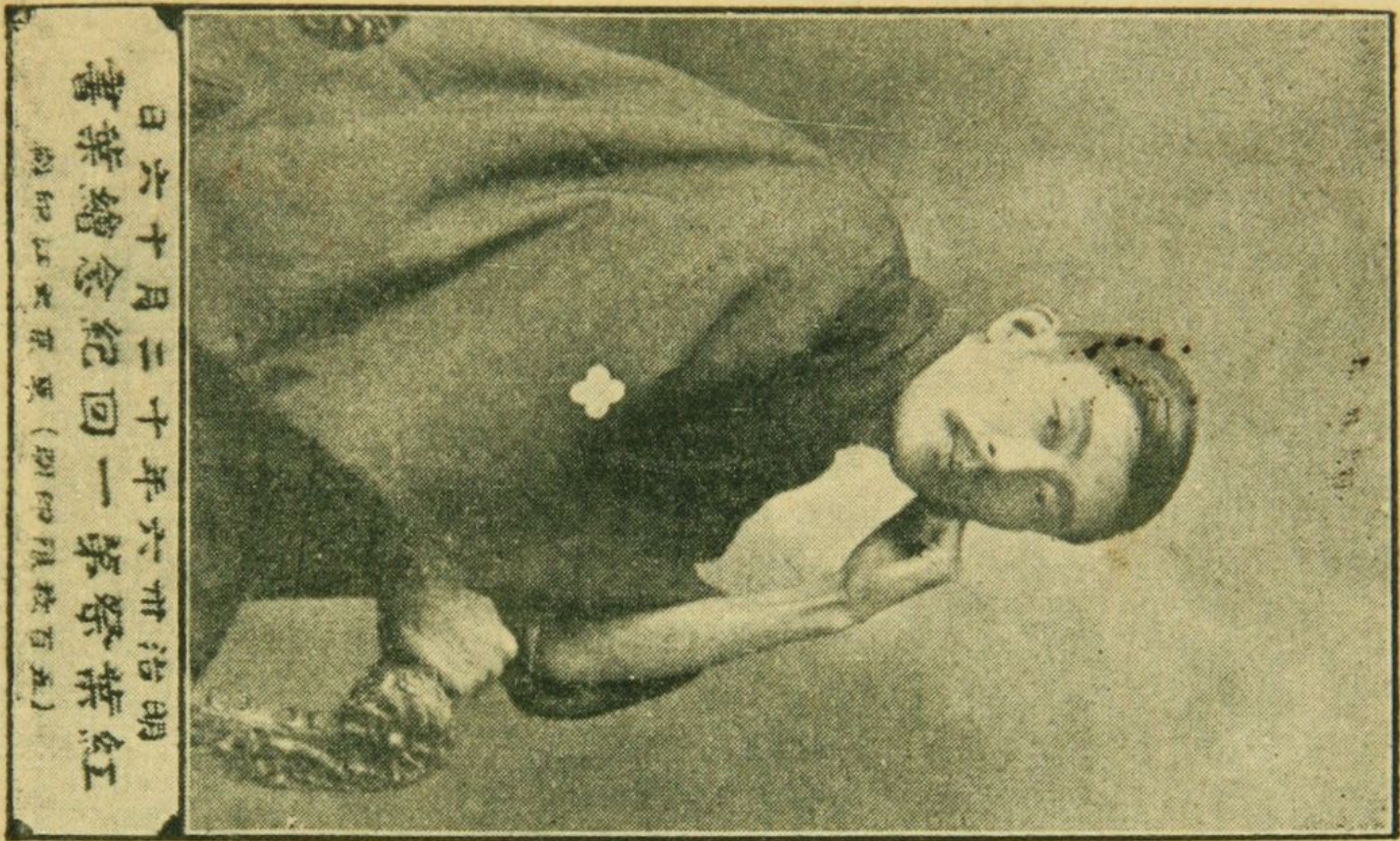
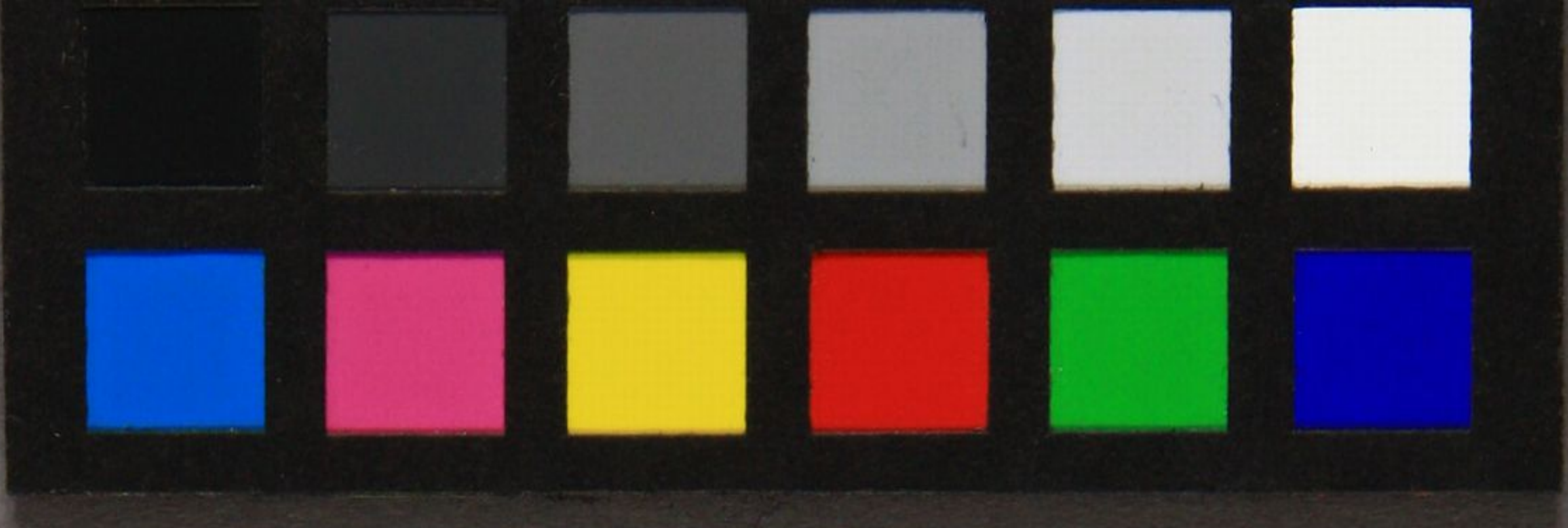


川陣  
見水陰  
鬼



9 140 1 2 3 4 5 6 7 8 9 150 1

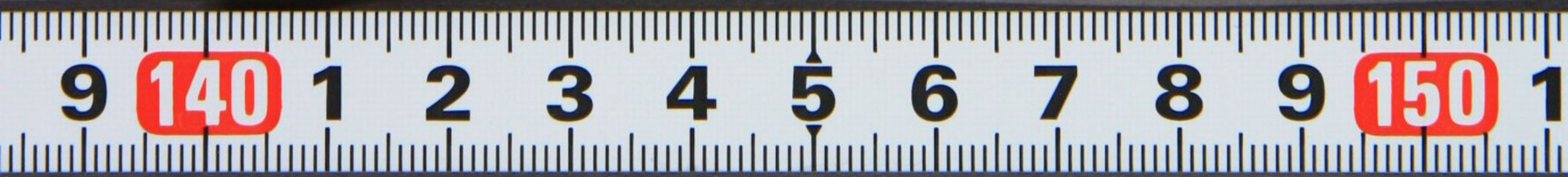




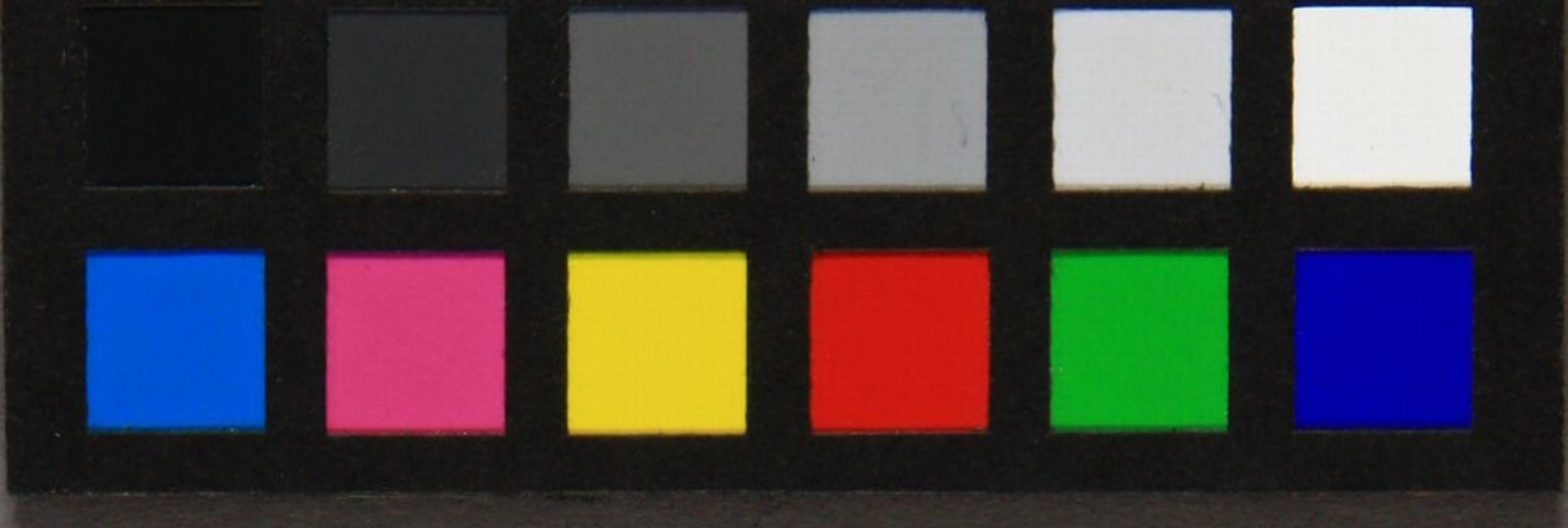
明治卅六年十二月六日  
紅葉總念紀回一第  
紅葉祭 (印刷部發行)

紅葉祭 第一具像

紅葉祭  
第一具像  
紅葉祭  
第一具像







28



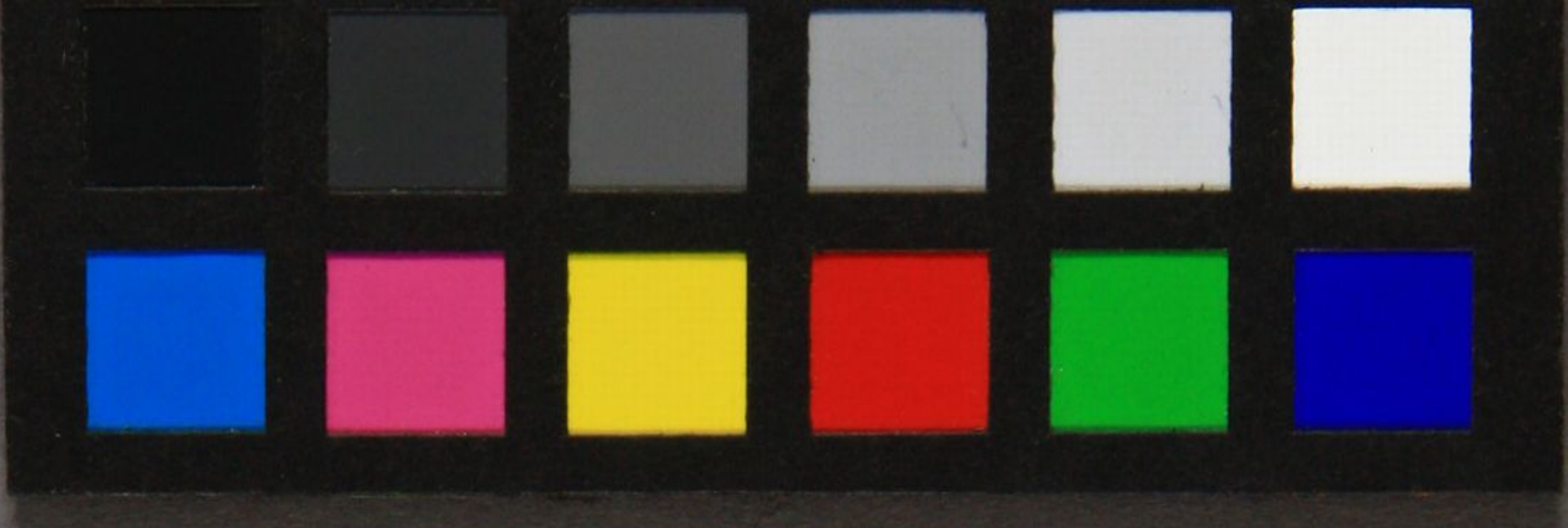
郵便はかき

此表面にハ宿所姓名を限り認むへし

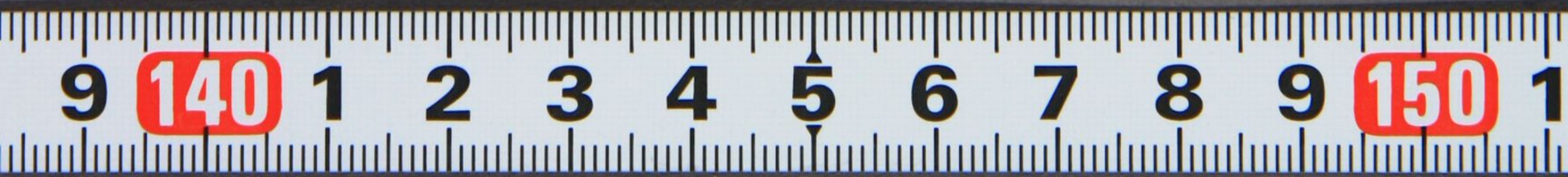
山崎 区 久野 所  
三ノ 本 地  
江 其 水 子 屋 三 山



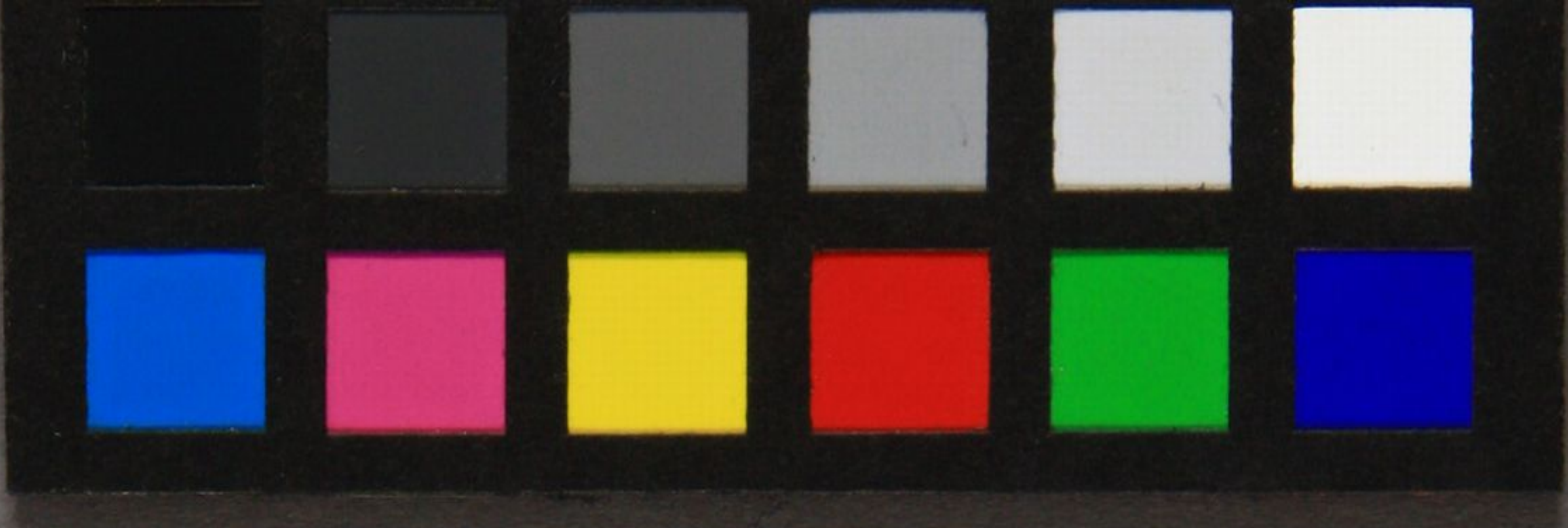




蕭白の活送付の字を正し  
 物見は其のつるまゝの字を正し  
 之の眼の字は神眉の字に申  
 通の字は其の字に申す如し  
 之は月足の字に申す  
 十の字は月足







21



牛込北町四十一番地  
江見木茂  
尹人

郵便はかき

此表面は八宿所姓名を限り認むへし





疾風雷撃一鳴りしに跡 倭伴立  
 凝眸 其床の上 実り立ちし 在を視て  
 うこと 二時間降り 鳴呼 天に如所あれは  
 て先 一箇の 腐敗書也 社会の 技物を顧  
 ること 斯くは 倭 親切なるや 中品眼  
 友より 来ぬりとい 是るか 是品 出豆 明友より  
 来るもの ありあや 昨夕の 少計 其 倭  
 之を 受ふし 今朝の 中 眷顧に 倭何  
 とも 辞せざる かな 午後 八九時 垣子 伺  
 ふし 中品 女 積子 三十一日  
 併

併